



# 事業報告書

2023（令和5）年度

2023年4月1日～2024年3月31日

---



学校法人 樟蔭学園

# CONTENTS

2023(令和5)年度事業報告書の公表にあたって  
建学の精神

## I 法人の概要

基本情報

学校法人の沿革

設置する学校・学部・学科等及び学生等数の状況

役員・評議員の概要

教職員の概要

## II 事業の概要

「Shoin Vision 2030」

大学の長期ビジョン

主な教育・研究の概要

主な活動の状況

〔中長期計画及び事業計画に対する進捗・達成状況〕

資格の取得状況

卒業後の進路状況

中学校・高等学校、幼稚園及び法人の主な活動の状況

## III 財務の概要

決算の概要

貸借対照表関係

資金収支計算書関係

事業活動収支計算書関係

その他の状況

経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

# 2023(令和5)年度事業報告書の公表にあたって

学校法人 樟蔭学園 理事長 **森 眞太郎**



本年元日に発生しました令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々へ、深く哀悼の意を表し、謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様、並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本学園は、1917年の学園創立以来、「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」を建学の精神とし、女子教育の発展に貢献してまいりました。昨今、少子化等の影響もあり、女子高校や女子大学の共学化のニュースが相次いでいますが、反対に今こそ女子校の存在意義は大きいと考えます。先行きの不透明な時代にあって、地球規模での課題解決が求められる中、既存価値にとらわれず、リーダーシップを発揮する人材の育成こそが重要であり、女子校には女性のロールモデルとなる教職員の存在をはじめ、意思決定に携わる機会も多くあり、本学園には、これを育成するに十分な教育資源があります。社会が規格化する中で、共学校とは異なる基準や視点を有する女子校が、未来社会を設計していく動力となり得ると考えます。

樟蔭学園は、2020年度に、樟(くすのき)のように内なる輝きを発する女性を育成する『樟蔭美』をブランドコアとして再定義し、長期ビジョン「Shoin Vision 2030」を掲げ、そのもとに「第Ⅲ期中長期計画(2020年度～2024年度)」を策定し、実行してきました。本事業報告書では、法人の概要、各校の取り組み、財務の概要について、報告しておりますので、是非、ご覧いただきたく思います。

現中長期計画は終盤にさしかかり、次のステップへつないでいく段階となりました。今後も、女子学園として、永続するために、学園の原点を忘れることなく、教育の質の向上のため教育改革を押し進め、本学園で学ぶ全ての学生、生徒、園児の成長を支援し、魅力ある教育・研究活動を通して社会に貢献していきたいと考えます。皆様方には、平素のご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも更なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪樟蔭女子大学 学長 **竹村 一夫**

2023年度は、2020年から続いた新型コロナウイルス感染症の影響から、ほぼ脱却するとともに、コロナ禍で得られた知見や教訓をどのように検証し、今後の教育活動に活かしていくかが問われた年でした。また、いくつかの女子大学が閉学を発表したことや、関西圏でも複数の大学が共学化に舵を切るなど、女子大学の存在意義があらためて問われた年でもありました。

しかしながら、現在の日本社会には、男女間の賃金格差が大きいことや貧困率が多く、年齢において女性の方が高くなっていることなどの課題があります。また、男性と比べて意思決定の場に関わる女性が少ないことを反映して、世界経済フォーラムによるジェンダーギャップ指数2023が146カ国中125位になっている主要因である、男性と比べて管理的職業に従事する女性が少ないこと、女性議員、女性閣僚などにおける女性の割合が低いといった事実があります。



これらの現状をふまえると、ジェンダーを意識せず自分の能力を磨き、チャレンジしていく、女性だけが学ぶ環境を提供することは、女性の高等教育進学機会が限られていた時代に、その機会を提供すべく設立された本学園建学の精神を受け継ぎ、現代日本社会の課題解決に資するものと考えています。

今後とも、皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 建学の精神(創立者の思い)



「樟蔭学園はこのときにあたり、知情意兼備の豊かな母性が  
女性の充実した人生も、地球の明るい未来も  
ともに約束するという信念に基づき女子教育を志す

若々しき知性よ、この無窮の天空を翔けよ  
優しき虹の環をもって地球を包め  
志は玉よりも清らかに、笑顔は花よりも美しく

ここ樟の景蔭に集う人々よ、いざともに手を携え  
真理と正義の大道をまっすぐに進もう  
徳は孤ならず、人類の平和と繁栄は必ずこの道より始まる」

この建学の精神は、樟蔭学園の創立者である森平蔵の創立当時の思いを文章化したものです。

本学園の前身である樟蔭高等女学校が設立された大正 6 年、当時の女子教育の状況は、大正デモクラシーの進展もあって高等女学校への進学率が急速に高まり、大変な入学難を呈しておりました。

特に大阪では女子のための中・高等教育機関が少なく、進学志望の小学生は狭き門を突破するため、非常な受験勉強を強いられていました。

実業家であった森平蔵は、こうした児童・生徒の心身発達の過程上、悪影響を及ぼしかねない不毛の受験勉強を憂い、さらに狭き門から生じる偏った秀才教育に異を唱えて、内容の充実した質の高い女子教育を推進するため、巨額の私財を投じて私立樟蔭高等女学校を設立致しました。

このような創立者の熱き思いを反映するように、樟蔭高等女学校では、当時の女子教育に手薄であった教養教育の充実を図り、高い教養を持ち一人の人間として真に成熟した女性を育成することを目的として、最高の教育環境と設備が整えられました。

そして、その精神を踏まえて大正 14 年に当時の女子の最高教育機関であった女子専門学校を設立、戦後の学制改革等を経て幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院からなる女子の総合学園として発展して参りました。

本学では、いつの時代も「『高い知性』と『豊かな情操』を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成を目指す。」という建学の精神の主旨を大切に受け継ぎ、それは確固たる校風としても熟成されてきました。そして、これからも建学の精神を中核とし、最高の教育環境の創造により一層邁進して参ります。

# I 法人の概要

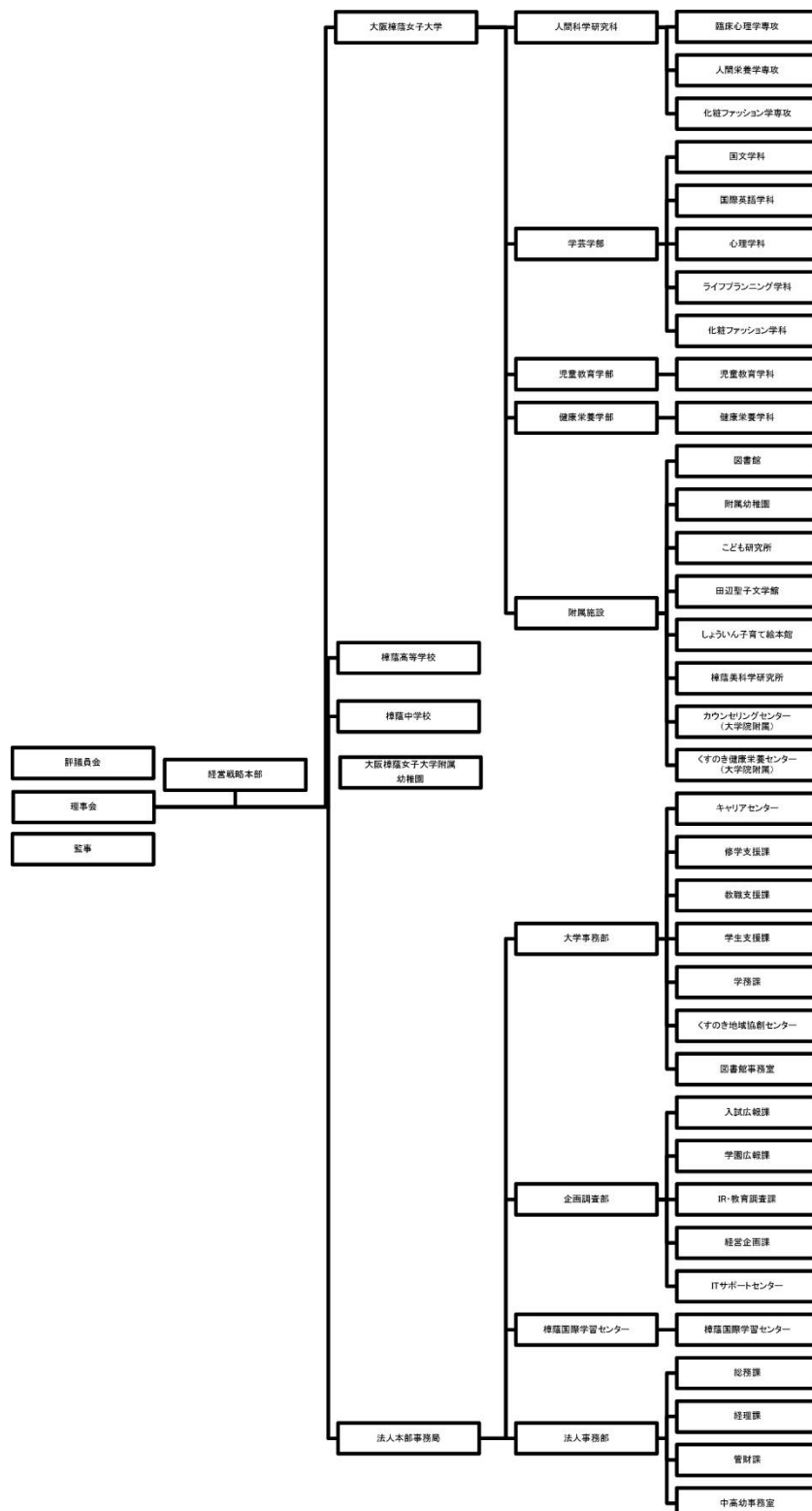
## 基本情報

学校法人 樟蔭学園 大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26

TEL:06-6723-8183 FAX:06-6723-8263 <https://www.osaka-shoin.ac.jp/>

## 学園運営の組織図

(2023 年 5 月 1 日現在)



## 学校法人の沿革

| 年           | 月  | 事項                                                                                                                                                |
|-------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1917(大正 6)  | 12 | 樟蔭高等女学校設立認可。                                                                                                                                      |
| 1918(大正 7)  | 4  | 樟蔭高等女学校本科及び専攻科第1回入学式を挙行。                                                                                                                          |
| 1918(大正 7)  | 11 | 開学式(新築落成式)を行う。                                                                                                                                    |
| 1919(大正 8)  | 4  | 私立樟蔭高等女学校の組織を財団法人として認可される。理事長 森平蔵。                                                                                                                |
| 1926(大正 15) | 4  | 樟蔭女子専門学校設置。                                                                                                                                       |
| 1947(昭和 22) | 4  | 学制改革に伴い、新制樟蔭中学校を設置。                                                                                                                               |
| 1948(昭和 23) | 4  | 学制改革に伴い、旧制高等女学校を解消し、新制樟蔭高等学校を設置。                                                                                                                  |
| 1949(昭和 24) | 2  | 財団法人私立樟蔭高等女学校を財団法人樟蔭学園に名称変更。                                                                                                                      |
| 1949(昭和 24) | 4  | 大阪樟蔭女子大学第1回入学式挙行。                                                                                                                                 |
| 1951(昭和 26) | 3  | 法改正により、財団法人から学校法人への組織変更認可。                                                                                                                        |
| 1951(昭和 26) | 4  | 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園設置。                                                                                                                                  |
| 1969(昭和 44) | 3  | 学園創立時の洗濯教室を移築し、樟古館と命名する。                                                                                                                          |
| 1987(昭和 62) | 4  | 樟蔭女子短期大学設置。                                                                                                                                       |
| 1991(平成 3)  | 4  | 樟蔭女子短期大学人間関係科設置。                                                                                                                                  |
| 2001(平成 13) | 4  | 大阪樟蔭女子大学人間科学部設置。<br>大阪樟蔭女子大学学芸学部日本文化史学科設置。<br>樟蔭女子短期大学から大阪樟蔭女子大学短期大学部へ名称変更。                                                                       |
| 2002(平成 14) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部食物学科を食物栄養学科に名称変更、併せて、管理栄養士養成施設として指定を受ける。                                                                                              |
| 2003(平成 15) | 3  | 樟蔭女子短期大学日本文化史科、日本文学科、英米語科廃止。                                                                                                                      |
| 2004(平成 16) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部インテリアデザイン学科設置。<br>大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻設置。                                                                                        |
| 2005(平成 17) | 4  | 大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科人間栄養学専攻設置。<br>大阪樟蔭女子大学人間科学部人間社会学科設置。<br>大学院人間科学研究科臨床心理学専攻について、臨床心理士養成第1種指定大学院認定を受ける。                                            |
| 2007(平成 19) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング学科設置。                                                                                                                        |
| 2009(平成 21) | 4  | 大阪樟蔭女子大学心理学部臨床心理学科・発達教育心理学科・ビジネス心理学科設置。<br>大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科設置。<br>大阪樟蔭女子大学短期大学部キャリアデザイン学科設置。<br>大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科アパレル専攻を被服学専攻に、化粧文化専攻を化粧品学専攻に名称変更。 |
| 2010(平成 22) | 3  | 大阪樟蔭女子大学人間科学部応用社会学科廃止。                                                                                                                            |
| 2010(平成 22) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部国際英語学科設置。<br>大阪樟蔭女子大学学芸学部食物栄養学科を健康栄養学科に名称変更。                                                                                          |
| 2010(平成 22) | 10 | 大阪樟蔭女子大学学芸学部日本文化史学科廃止。                                                                                                                            |
| 2011(平成 23) | 3  | 大阪樟蔭女子大学短期大学部人間関係科廃止。                                                                                                                             |
| 2012(平成 24) | 3  | 大阪樟蔭女子大学人間科学部人間社会学科廃止。                                                                                                                            |
| 2013(平成 25) | 3  | 大阪樟蔭女子大学短期大学部廃止。<br>大阪樟蔭女子大学学芸学部英米文学科廃止。                                                                                                          |
| 2013(平成 25) | 4  | 大阪樟蔭女子大学心理学部発達教育心理学科を心理学科に名称変更。                                                                                                                   |
| 2013(平成 25) | 9  | 大阪樟蔭女子大学人間科学部心理学科廃止。                                                                                                                              |
| 2015(平成 27) | 3  | 大阪樟蔭女子大学関屋キャンパスを小阪キャンパスへ移転。<br>大阪樟蔭女子大学人間科学部児童学科廃止。                                                                                               |
| 2015(平成 27) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部心理学科、健康栄養学部健康栄養学科設置。                                                                                                                  |
| 2016(平成 28) | 3  | 大阪樟蔭女子大学心理学部ビジネス心理学科廃止。                                                                                                                           |
| 2016(平成 28) | 4  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科を化粧ファッション学科に名称変更。                                                                                                                 |
| 2016(平成 28) | 10 | 大阪樟蔭女子大学学芸学部インテリアデザイン学科廃止。                                                                                                                        |
| 2017(平成 29) | 10 | 樟蔭学園創立100周年記念式典を挙行。                                                                                                                               |
| 2018(平成 30) | 4  | 大阪樟蔭女子大学児童学部児童学科を児童教育学部児童教育学科に名称変更。                                                                                                               |
| 2019(平成 31) | 3  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科廃止。                                                                                                                             |
| 2020(令和 2)  | 3  | 大阪樟蔭女子大学学芸学部化粧ファッション学科専攻区分廃止。                                                                                                                     |
| 2022(令和 4)  | 3  | 大阪樟蔭女子大学心理学部心理学科廃止。                                                                                                                               |
| 2024(令和 6)  | 3  | 大阪樟蔭女子大学心理学部臨床心理学科、心理学部廃止。                                                                                                                        |



創立当初の正門(大正7年)



理科教室での科学実験(大正9年)



創立10周年に建てられた記念館(昭和2年)



大学の第1回卒業式(昭和28年)

## 設置する学校・学部・学科等及び学生等数の状況

(2023 年 5 月 1 日現在)

## ○ 大阪樟蔭女子大学 東大阪市菱屋西 4-2-26

| 研究科・学部・学科         |               | 学位             | 入学定員 | 収容定員  | 開設年度           |
|-------------------|---------------|----------------|------|-------|----------------|
| 人間科学研究科<br>(修士課程) | 臨床心理学専攻       | 修士(臨床心理学)      | 8    | 16    | 2004(H16)年 4 月 |
|                   | 人間栄養学専攻       | 修士(人間栄養学)      | 8    | 16    | 2005(H17)年 4 月 |
|                   | 化粧品ファッション学専攻  | 修士(化粧品ファッション学) | 10   | 20    | 2013(H25)年 4 月 |
|                   | 大学院計          |                | 26   | 52    |                |
| 学芸学部              | 国文学科          | 学士(国文学)        | 60   | 240   | 1949(S24)年 4 月 |
|                   | 国際英語学科        | 学士(国際英語学)      | 40   | 160   | 2010(H22)年 4 月 |
|                   | 心理学科          | 学士(心理学)        | 80   | 320   | 2015(H27)年 4 月 |
|                   | ライフプランニング学科   | 学士(ライフプランニング)  | 60   | 240   | 2007(H19)年 4 月 |
|                   | 化粧品ファッション学科※1 | 学士(被服学)        | 140  | 500   | 1949(S24)年 4 月 |
|                   | 小計            |                | 380  | 1,460 |                |
| 心理学部              | 臨床心理学科※2      | 学士(心理学)        | —    | —     | 2009(H21)年 4 月 |
| 児童教育学部            | 児童教育学科※3      | 学士(児童教育学)      | 120  | 630   | 2009(H21)年 4 月 |
| 健康栄養学部            | 健康栄養学科        | 学士(健康栄養学)      | 160  | 640   | 2015(H27)年 4 月 |
|                   | 学部計           |                | 660  | 2,730 |                |
|                   | 大学計           |                | 686  | 2,782 |                |

※1 2023 年度収容定員増加 ※2 2015 年度募集停止 ※3 2023 年度より収容定員削減

注記) 名称変更を行っている学科の開設年度は、当初の学科の開設年度を記載している。

開設年度の S は「昭和」、H は「平成」を表す。

| 大学院研究科            | 専攻                            | 入学<br>定員 | 入学<br>者数 | 収容<br>定員 | 在籍学生数 |     |     |     |       |
|-------------------|-------------------------------|----------|----------|----------|-------|-----|-----|-----|-------|
|                   |                               |          |          |          | 1 年   | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 計     |
| 人間科学研究科<br>(修士課程) | 臨床心理学専攻                       | 8        | 6        | 16       | 6     | 4   |     |     | 10    |
|                   | 人間栄養学専攻                       | 8        | 0        | 16       | 0     | 4   |     |     | 4     |
|                   | 化粧ファッション学専攻                   | 10       | 1        | 20       | 1     | 3   |     |     | 4     |
| 大学院計              |                               | 26       | 7        | 52       | 7     | 11  |     |     | 18    |
| 学部                | 学科・専攻                         |          |          |          |       |     |     |     |       |
| 学芸学部              | 国文学科                          | 60       | 44       | 240      | 44    | 44  | 45  | 51  | 184   |
|                   | 国際英語学科                        | 40       | 8        | 160      | 8     | 16  | 30  | 50  | 104   |
|                   | 心理学科                          | 80       | 82       | 320      | 82    | 84  | 76  | 110 | 352   |
|                   | ライフプランニング学科                   | 60       | 40       | 240      | 40    | 44  | 56  | 55  | 195   |
|                   | 化粧ファッション学科                    | 140      | 157      | 500      | 157   | 164 | 135 | 139 |       |
|                   | 化粧ファッション学科<br>被服学専攻・ファッション学専攻 | —        | —        | —        | —     | —   | —   | 3   | 602   |
|                   | 化粧学専攻                         | —        | —        | —        | —     | —   | —   | 4   |       |
| 計                 |                               | 380      | 331      | 1,460    | 331   | 352 | 342 | 412 | 1,437 |
| 心理学部              | 臨床心理学科                        | —        | —        | —        | —     | —   | —   | 1   | 1     |
| 計                 |                               | —        | —        | —        | —     | —   | —   | 1   | 1     |
| 児童教育学部            | 児童教育学科                        | 120      | 52       | 630      | 52    | 85  | 84  | 125 | 346   |
| 計                 |                               | 120      | 52       | 630      | 52    | 85  | 84  | 125 | 346   |
| 健康栄養学部            | 健康栄養学科                        | 120      | 79       | 480      | 79    | 92  | 85  | 92  | 348   |
|                   | 管理栄養士専攻<br>食物栄養専攻             | 40       | 23       | 160      | 23    | 24  | 22  | 23  | 92    |
| 計                 |                               | 160      | 102      | 640      | 102   | 116 | 107 | 115 | 440   |
| 学部計               |                               | 660      | 485      | 2,730    | 485   | 553 | 533 | 653 | 2,224 |
| 大学計               |                               | 686      | 492      | 2,782    | —     | —   | —   | —   | 2,242 |

|               | 収容定員充足率 |         |         |         |         |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|
|               | 2023 年度 | 2022 年度 | 2021 年度 | 2020 年度 | 2019 年度 |
| 人間科学研究科(修士課程) | 34.6%   | 42.3%   | 51.9%   | 40.4%   | 48.1%   |
| 学芸学部          | 98.4%   | 104.9%  | 106.7%  | 104.7%  | 95.0%   |
| 心理学部          |         |         |         |         |         |
| 児童教育学部        | 54.9%   | 61.8%   | 71.5%   | 81.1%   | 87.4%   |
| 健康栄養学部        | 68.8%   | 77.0%   | 85.3%   | 94.5%   | 100.8%  |
| 学部計           | 81.5%   | 87.8%   | 93.3%   | 96.8%   | 94.8%   |
| 大学計           | 80.6%   | 87.0%   | 92.5%   | 95.7%   | 93.9%   |

## ○樟蔭高等学校 東大阪市菱屋西 4-2-26

| 設置課程等  | コース          | 募集定員                       | 在籍生徒数 |     |     |     | 開設年度           |
|--------|--------------|----------------------------|-------|-----|-----|-----|----------------|
|        |              |                            | 1 年   | 2 年 | 3 年 | 計   |                |
| 全日制普通科 | 国際教養、総合、身体表現 | 280<br>(内部:70)<br>(外部:210) | 175   | 167 | 199 | 541 | 1948(S23)年 4 月 |

## ○樟蔭中学校 東大阪市菱屋西 4-2-26

| コース            | 募集定員 | 在籍生徒数 |     |     |     | 開設年度           |
|----------------|------|-------|-----|-----|-----|----------------|
|                |      | 1 年   | 2 年 | 3 年 | 計   |                |
| 国際教養、総合進学、身体表現 | 70   | 79    | 75  | 85  | 239 | 1947(S22)年 4 月 |

## ○大阪樟蔭女子大学附属幼稚園 東大阪市菱屋西 3-3-7

|          | 募集定員                  | 在籍園児数 |      |      |     | 開設年度           |
|----------|-----------------------|-------|------|------|-----|----------------|
|          |                       | 3 歳児  | 4 歳児 | 5 歳児 | 計   |                |
| 3・2・1年保育 | 3 歳児:50<br>4・5 歳児:若干名 | 44    | 34   | 47   | 125 | 1951(S26)年 4 月 |

## ○学園計

|               |       |
|---------------|-------|
| 学園在籍学生・生徒・園児数 | 3,147 |
|---------------|-------|

## 役員・評議員の概要

(2023 年 5 月 1 日現在)

## ○ 役員(理事:定数 6~9 人、実数 9 人 監事:定数 2 人、実数 2 人)

| 主な現職等                                   | 氏名    | 常勤・<br>非常勤の別 | 業務執行・<br>非業務執行の別 | 就任年月日          |
|-----------------------------------------|-------|--------------|------------------|----------------|
| 理事長                                     | 森 真太郎 | 常勤           | —                | 1998 年 4 月 1 日 |
| 理事・大阪樟蔭女子大学長                            | 竹村 一夫 | 常勤           | 業務執行             | 2016 年 4 月 1 日 |
| 理事・樟蔭中学校長、樟蔭高等学校長                       | 小嶋 信男 | 常勤           | 業務執行             | 2023 年 4 月 1 日 |
| 理事・大阪樟蔭女子大学副学長                          | 白川 哲郎 | 常勤           | 業務執行             | 2018 年 4 月 1 日 |
| 理事・大阪樟蔭女子大学副学長                          | 高橋 裕子 | 常勤           | 業務執行             | 2022 年 4 月 1 日 |
| 理事・学校法人樟蔭学園法人本部事務局長                     | 大江 重治 | 常勤           | 業務執行             | 2020 年 4 月 1 日 |
| 理事・学校法人樟蔭学園法人本部事務局<br>法人事務部部長 兼 企画調査部部長 | 松嶋 達彦 | 常勤           | 業務執行             | 2022 年 4 月 1 日 |
| 理事・弁護士                                  | 池田 良兼 | 非常勤          | 非業務執行            | 2012 年 4 月 1 日 |
| 理事・元大阪私学経営者協議会事務局長                      | 小松 正人 | 非常勤          | 非業務執行            | 2019 年 4 月 1 日 |
| 監事                                      | 藤原 準二 | 非常勤          | 非業務執行            | 2008 年 4 月 1 日 |
| 監事                                      | 岩橋 昭  | 非常勤          | 非業務執行            | 2014 年 4 月 1 日 |

## ○責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

私立学校法に従い、理事会決議により、私大協役員賠償責任保険に加入。

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1 保険名            | 役員賠償責任保険                      |
| 2 保険責任期間         | 2023 年 4 月 1 日~2024 年 4 月 1 日 |
| 3 団体契約者          | 日本私立大学協会                      |
| 4 被保険者           | 記名法人                          |
|                  | 学校法人樟蔭学園                      |
| 5 補償内容           | 個人被保険者                        |
|                  | 理事・監事・評議員・他                   |
| 6 支払い対象とならない主な場合 | 役員(個人被保険者)に関する補償              |
|                  | 損害賠償請求対応費用、公的調査等対応費用等         |
| 7 保険期間中総支払限度額    | 記名法人に関する補償                    |
|                  | 法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用         |
| 法律違反に起因する対象事由等   |                               |
| 1 億円             |                               |

## ○ 評議員（定数 24～30 人、実数 25 人）

| 主な現職等                                | 氏名       | 就任年月日          |
|--------------------------------------|----------|----------------|
| 評議員・学校法人樟蔭学園理事長                      | 森 眞太郎    | 1993 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学長                        | 竹村 一夫    | 2014 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学副学長                      | 白川 哲郎    | 2018 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学副学長                      | 高橋 裕子    | 2020 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学副学長                      | 小森 道彦    | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭中学校長、樟蔭高等学校長                   | 小嶋 信男    | 2021 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学附属幼稚園長                   | 門 正博     | 2016 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科長              | 高橋 裕子※兼務 | 2023 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭高等学校副校長                        | 谷口 宏     | 2020 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭中学校副校長                         | 猪俣 恵美子   | 2023 年 4 月 1 日 |
| 評議員・学校法人樟蔭学園法人本部事務局長                 | 大江 重治    | 2019 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学学芸学部教授                   | 川上 正浩    | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・大阪樟蔭女子大学児童教育学部教授                 | 安部 永     | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭高等学校教諭                         | 大久保 雅弘   | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭中学校教諭                          | 川浪 隆之    | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・学校法人樟蔭学園法人本部事務局法人事務部部长兼企画調査部部长   | 松嶋 達彦    | 2022 年 4 月 1 日 |
| 評議員・樟蔭中学校、樟蔭高等学校事務長、大阪樟蔭女子大学附属幼稚園事務長 | 田中 圭子    | 2019 年 4 月 1 日 |
| 評議員・卒業生                              | 森 崇子     | 2000 年 4 月 1 日 |
| 評議員・卒業生                              | 野田 圭子    | 2012 年 4 月 1 日 |
| 評議員・卒業生                              | 高木 晃子    | 2016 年 4 月 1 日 |
| 評議員・卒業生                              | 森川 彌生    | 2016 年 4 月 1 日 |
| 評議員・卒業生                              | 梅咲 優子    | 2020 年 4 月 1 日 |
| 評議員・弁護士                              | 池田 良兼    | 2012 年 4 月 1 日 |
| 評議員・元大阪私学経営者協議会事務局長                  | 小松 正人    | 2019 年 4 月 1 日 |
| 評議員・公認会計士                            | 篠原 祥哲    | 2004 年 4 月 1 日 |
| 評議員・弁護士                              | 大野 康裕    | 2016 年 4 月 1 日 |

## 教職員の概要

（2023 年 5 月 1 日現在）

|             |     | 大学<br>(大学院) | 大学<br>(学部) | 高校   | 中学    | 幼稚園  | 法人   | その他    | 合計   |
|-------------|-----|-------------|------------|------|-------|------|------|--------|------|
| 学長・校長・園長    |     | 1           |            | 1    | <1>   | <1>  | —    | —      | 2    |
| 教員          | 専任  | <21>        | 100        | 35   | 16    | 7    | —    | —      | 158  |
|             | 非常勤 | 11<3>       | 265        | 30   | 13    | 6    | —    | —      | 325  |
| 職員          | 専任  | —           | 92         | 7    | 2     | —    | 3    | —      | 104  |
|             | 非常勤 | 8           | 45         | 12   | 1     | —    | 5    | —      | 71   |
| その他         |     | —           | —          | —    | —     | —    | —    | 11(46) | 11   |
| 専任合計        |     | <21>        | 193        | 43   | 18<1> | 7<1> | 3    | —      | 264  |
| 非常勤合計       |     | 19<3>       | 310        | 42   | 14    | 6    | 5    | 11(46) | 407  |
| 総合計(人)      |     | 19          | 503        | 85   | 32    | 13   | 8    | 11     | 671  |
| 専任教員平均年齢(歳) |     | —           | 52.6       | 47.3 | 42.0  | 37.4 | —    | —      | 49.6 |
| 専任職員平均年齢(歳) |     | —           | 37.3       | 46.9 | 58.5  | —    | 52.0 | —      | 38.8 |

※兼務者は&lt;&gt;で記載

※所属あるいは職種の違う非常勤については重複カウント

※その他は派遣職員・業務委託

## Ⅱ 事業の概要

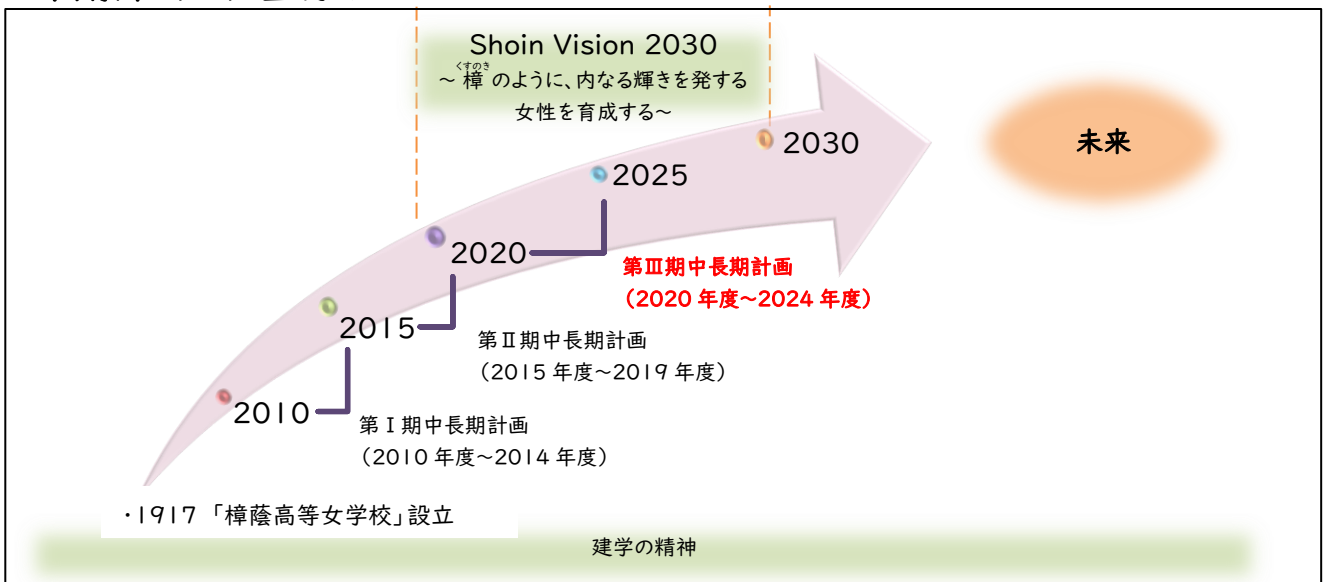
### Shoin Vision 2030

#### 学園及び設置校の将来像（長期ビジョン）

樟蔭学園が百有余年の歴史の中で育て上げてきたものの根幹は、学生生徒それぞれが内なるものとして培った女性としての芯、意思、またその強さであり、「樟蔭美」という価値観に集約されます。今後、建学の精神のもとに、「樟のように、内なる輝きを発する女性を育てる」ことを通じて、社会の幸せのために力を発揮していける存在として在り続けます。



#### 中期計画の位置付け



# 大阪樟蔭女子大学・大学院



## 大学の長期ビジョン

人材育成と知的創造活動の場である大学は、今後予測不可能と言われている時代において、「自ら考え主体的に判断し行動する力」や「変化に対応するしなやかな力」を有する人材を社会へ送り出す責務があると考えています。そこで、建学の精神を大事にしつつ現代社会の課題に対応したグランドデザインを策定いたしました。

将来に向けて本学が目指すものは、美の「知」、美の「人」を追究し、知性美・情操美・品性美の三つの「美」を兼ね備えた社会の要となる人材の育成を通して社会に貢献することです。まさしく「美（知性・情操・品性）を通して社会に貢献する」大学になります。

ここでいう「美」とは、単なる外見上のものではなく、むしろ内面から醸し出される美しさであり、教養があり立ち居振る舞いに品がある洗練された「美」を意図しています。本学の伝統や現在の学びの実態、そして将来を見据えて「美 Beautiful 2030」をスローガンとしました。

そして「美 Beautiful 2030」の実現に向け、以下の6つのビジョンを掲げます。

### 1. 知性の「美」を中心に、情操の「美」、品性の「美」を高める学び ～Learning～

価値観が多様化し予測不可能な時代が到来するなか、自ら考え判断し行動する女性の育成に対応した課題解決型教育を展開するため、学生が主体的に学んでいく教育環境を整備します。これらの根底には、知識技能の修得のみならず、他者と共働する社会における情操や品性を磨くことを重視した学びがあります。

### 2. 充実したキャンパスライフを支えるサポート体制 ～Student Support～

学生の能力を最大限伸ばすため、修学面、生活面、キャリア面でのサポートをさらに充実させます。修学環境の整備や奨学金制度の充実、そして就職活動に対する物心両面からのサポートなど、学生ひとりひとりに対応したキャンパス環境をつくりあげます。

### 3. 良きパートナーシップ精神をもった地域貢献、社会貢献の推進 ～Regional Contribution～

他者との円滑なコミュニケーション力を養うため、豊かな情操と品性を兼ね備えた感性とともに地域貢献活動を積極的に行う学生をサポートします。また、地域と社会が抱える諸問題に対して、大学が持つリソースを活用し貢献していきます。

### 4. アカデミックな観点から「美」にアプローチする研究の推進 ～Research Institute～

身体などの外面だけでなく内面も含めて総合的に「美」を研究する機関として「樟蔭美科学研究所」を2020年度に設立しました。この研究所を中心に外部機関との共同研究を推し進め、その成果を社会に還元していきます。

### 5. 多様性を尊重し合う学生の受け入れ ～Respect for Diversity～

多様な背景を持つ学生同士が刺激し合いながら学びを展開し、お互いを高め合う環境となるキャンパスを提供するため、高校と大学の学びの接続を進めていきます。

### 6. 樟蔭から世界につながるネットワーク構築 ～Network Construction～

在学中に留学を経験する学生を増やすとともに、外国人留学生の受け入れも促進し、多様性あふれるキャンパスの実現をめざします。国内外を問わずあらゆる場面で人と人とのネットワークが今後ますます重要となってくるため、ワールドワイドなネットワーク構築を通して学生が成長できるよう、サポートします。

## 主な教育・研究の概要

### 1. 大学

#### 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/about/idea/diplomapolicy/>

所定の課程を修め、次のような能力を身につけた学生の卒業を認定し、学位を授与する。

- ・自ら必要な情報を収集し、多角的な視点から分析し、適切に活用することができる。（情報リテラシー）
- ・事実やデータにもとづき、客観的、論理的に思考することができる。（論理的思考力）
- ・さまざまな場面において、自らの意見を持ち、責任ある行動をとることができる。（自己管理能力）
- ・状況を的確に把握し、問題を発見し、その解決のために継続的に取り組むことができる。（問題解決力）
- ・他者の意見を聴き、相手への理解をふまえて適切な表現によって自分の意見を伝え、協力して活動できる。（チームワーク）

※学部共通の内容を記載しています、各学部・学科のディプロマポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/about/idea/curriculumpolicy/>

ディプロマポリシーに掲げる知識・技能等を修得させるために、学士課程基幹教育科目、学科専攻科目等を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に設置する。なお、カリキュラムの体系についてはカリキュラムマップにおいて明示する。

##### ○教育内容

- ・4年間をととした学修の基礎となる学士課程基幹教育科目に関して、初年次教育において、本学のミッションに基づき「樟蔭コア科目」「言語情報科目」「主題別科目」を履修し、論理的思考力・コミュニケーション力・情報収集力等の基本となる学士力を獲得する。
- ・『樟蔭の窓』を初年次に履修し、大阪樟蔭女子大学で学ぶ意味を考え、また将来社会で自律した女性として生きるために必要な考え方を身につける。
- ・学士課程基幹教育科目主題別科目群に関しては、初年次から自らの関心に応じていくつかの主題領域、科目を選択し、問題を発見する力や解決に向けて継続的に取り組む力、他者への理解をふまえ協力して活動できる力を獲得する。また、学修の成果を就業につなげ、実社会に役立てるために、1年次からキャリア系科目を履修することができる。

##### ○教育方法

- ・Webツールなどを活用し、学修に関する目標・記録・評価など、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理する。

※学部共通の内容を記載しています、各学部・学科のカリキュラムポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

#### 入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/about/idea/admissionpolicy/>

ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

- ・高等学校の教育課程を幅広く修得している。
- ・入学前教育として求められる、必要な基礎的な知識を身につけるための学習課題に最後まで取り組むことができる。

※学部共通の内容を記載しています、各学部・学科のアドミッションポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

### 2. 大学院

#### 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/gs/about/idea/>

人間科学研究科は、教育課程において、所定の単位を修め、かつ学位論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格し、以下の能力を備えた学生に対して、大学院修了を認定し、修士の学位を授与する。

- ・広い視野に立った清新で学問的な知識と見識。（広範な学識能力）
- ・真実を精査し、探究する研究能力。（研究能力）
- ・高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力。（高度専門職業能力）
- ・文化の進展に寄与できる能力。（文化教養性）

※各専攻のディプロマポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/gs/about/idea/>

人間科学研究科は、ディプロマポリシーに掲げる能力を修得させるために、以下のカリキュラム編成を行う。

- ・学際的かつ総合的な人間科学研究の視点を養うことを目的として、全専攻共通の科目（人間科学研究方法論）を設置する。
- ・より高度な専門知識を体系的に修得し実践力を養うことを目的として、専攻科目を設置する。
- ・大学院での学びの集大成である学位論文の作成又は課題研究の遂行を目的として、研究指導科目を設置する。

※各専攻のカリキュラムポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

#### 入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

<https://www.osaka-shoin.ac.jp/gs/about/idea/>

人間科学研究科は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる条件を備えた人を求める。

- ・各専攻での学びを通じて、広い視野に立った学識ならびに専門的な技術を習得する意欲を有している。
- ・各専攻の示す要件を満たしている。

※各専攻のアドミッションポリシーについてはホームページにおいて公開しています。

# 主な活動の状況〔中長期計画及び事業計画に対する進捗・達成状況〕

評価記号の説明〔単年度達成度〕：

|   |                  |                 |                  |           |
|---|------------------|-----------------|------------------|-----------|
| S | 計画通り（以上を含む）実施した、 | 或いは大きく成果を上げた、   | 或いは目標数値を達成した     | 90～100%   |
| A | 計画をほぼ実施した、       | 或いは一定の良い成果を上げた、 | 或いは目標数値をほぼ達成した   | 80～ 90%未満 |
| B | 計画をある程度実施した、     | 或いはある程度の成果を上げた、 | 或いは目標数値をある程度達成した | 60～ 80%未満 |
| C | 計画を下回って実施した、     | 或いは、成果はあまりなかった、 | 或いは目標数値より大きく下回った | 10～ 60%未満 |
| D | 計画を大きく下回って実施した、  | 或いは、成果はない       |                  | 1～ 10%未満  |
| E | 計画を実施しなかった（評価外）  |                 |                  | 0%        |

進捗度の説明〔年度累計〕：

%： 全体工程（5 年）に於ける進捗具合

| 大課題          | 進捗度 | 基本施策                     | 具体的施策                                                           | 2023年度事業計画                                                                                                      | 評価 |
|--------------|-----|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 使命・目的<br>の実践 | 42% | ランドデザイン<br>2030と変化への対応   | ランドデザインの浸透                                                      | 前年度の履行状況の検証<br>各種施策6つのビジョンに沿った取り組みの実行                                                                           | C  |
|              |     |                          | 時代の変化に対応した学部・学科改革                                               | 収容定員の適正化検討およびそれに伴う、学部・学科構成の見直し、プランニング                                                                           | B  |
|              |     | 教育研究組織の革新<br>と充実         | 学芸学部の充実                                                         | 国際英語学科に韓国分野を追加したことに伴うカリキュラム等の見直し<br>化粧ファッション学科S/T比の改善に向けて教員増                                                    | C  |
|              |     |                          | 児童教育学部の充実                                                       | 児童教育学部の改組（教育学部（仮称）設置）に向けた届出及びその他準備                                                                              | S  |
|              |     |                          | 健康栄養学部の充実                                                       | 人材育成体制の確立                                                                                                       | E  |
| 学生の受け<br>入れ  | 48% | 安定した学生確保に向けた入試制度・広報体制の整備 | 新入試制度への対応                                                       | 改正2024年度入試の直前点検・予備的修正、及び実施<br>オープンキャンパスの効果的コンテンツと運営促進<br>（2024年度新入試も考慮）                                         | B  |
|              |     |                          | 安定した学生確保に向けた広報体制の整備                                             | 「広報組織力」「関係構築力」の強化<br>「戦略構築力」の強化<br>「情報発信力」の強化<br>「情報収集力・分析力」の強化<br>「イベント誘導力」の強化                                 | A  |
|              |     | 組織横断的な教職員連携強化（教職協働）      | 参加・関与／パートナーシップの促進2                                              | 組織横断的な入試関連イベント企画等チームの稼働<br>課長による高校訪問活動<br>学外説明会での説明要員の育成                                                        | B  |
|              |     |                          | ステークホルダーとの連携強化                                                  | 協定校への教学メリットの検証と改善<br>新入試制度実施<br>新入試制度での魅力訴求<br>財務メリットの見直し<br>発信力の強化                                             | B  |
| 学生のサポート      | 57% | 学修支援体制の充実                | 学修支援体制の充実                                                       | 学生の意見・要望も汲み上げた学修支援体制の見直しと計画的な充実<br>前年度の意見・要望を踏まえた計画の立案ならびに実行実現                                                  | A  |
|              |     | 学修支援                     | 特別な配慮を求める学生への学修支援策の提供                                           | 支援に関する相談業務の充実（支援方法の検討を含む）<br>障がい理解に関する情報提供<br>対応困難事例への支援会議による介入<br>支援会議によるコーディネーター・学科間の連携の見直しと強化<br>教職員の障がい理解促進 | S  |
|              |     | キャリア支援                   | キャリア教育の充実・強化                                                    | 各キャリア科目の受講しやすい時間割の検討<br>（受講生数：前年比10%増）<br>2・3年生キャリア科目の必修化の検討開始<br>1年生向けインターンシップの開始                              | C  |
|              |     |                          | 就職・進学支援体制の充実                                                    | 将来のあるべき姿の具現化に向けての指導と情報提供                                                                                        | C  |
|              |     | 教職希望者に対する支援策の実施          | 教職支援センターの円滑な運営とその改善<br>教職志望学生に対する支援体制の円滑な運営と改善<br>教員採用試験の受験率の向上 |                                                                                                                 | S  |

| 大課題            | 進捗度 基本施策        | 具体的施策                             | 2023年度事業計画                                                                                   | 評価 |
|----------------|-----------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 学生生活支援         |                 | 学生生活支援体制の充実                       | ワンストップサービスに向けた学生生活支援体制の検討<br>課外活動充実策の具体化<br>新たな学生生活支援の検討（成績優秀者への報奨金）<br>「キャンパスの声」投稿手段のオンライン化 | S  |
|                |                 | 特別な配慮を必要とする学生生活支援体制の充実            | 障がい理解に関する情報提供<br>対応困難事例への支援会議による介入<br>支援会議による各部署連携の検証<br>教職員の障害理解推進体制の確立                     | A  |
| 学修環境の整備        |                 | 施設・設備の適切な管理と運営                    | 管理体制に基づく各種施設・設備の整備<br>施設・設備の有効な活用                                                            | A  |
|                |                 | バリアフリー化を含む施設・設備の利便性向上             | 教職員・学生からの要望や各種アンケート等から課題の抽出<br>設備改善計画の作成及び実行                                                 | A  |
| 学生の意見・要望への対応   |                 | 学生の意見・要望の収集と把握                    | 入学時、在学中、卒業時のアンケート調査の見直しと実施<br>意見・要望収集の着実な実施                                                  | A  |
|                |                 | 学生の意見・要望の分析と対応                    | 再検討された学生の意見や要望の分析の実施<br>評価を受けた分析結果の活用と適切な対応                                                  | B  |
| 退学者低減に向けた支援の充実 | 退学者の低減に向けた施策の推進 | データ解析に基づく修学面から困難になる学生に対する施策の立案と実施 |                                                                                              | C  |

### 教職支援センターによる支援の充実



本学の学校教育に関する免許・資格課程を履修する学生への支援を中心に、教職課程及び保育士養成課程の円滑な運営を図ることを目的として、2019年4月1日に教職支援センターを設置しました。以来、教職に関する授業の履修から、教育実習や介護等の体験に関する支援等、幅広いサポート体制を確立してきました。

2023年度には、採用試験対策『教職講座』を毎日開催する等、サポートの充実を図り、さらには情報発信力強化のため、教職支援センターのホームページを立ち上げました。実績として、2023年度は、公立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員採用試験、及び公立保育園の公務員保育士採用試験に延べ25名（実24名）の学生が合格しました。

### コロナ禍からの学生支援 ～インターネットラジオ局の活動を通して～

2021年、コロナ禍の新たな学生の活動の場として、また、大阪樟蔭女子大学の魅力や現役女子大生の大学生活を広く知ってもらうため、インターネットラジオ局「大阪樟蔭女子大学“美 Radio”」を学内に開局しました。学生が番組企画・取材・進行台本の作成・収録・編集・広報・パーソナリティまですべて行っています。

特に、2025年大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジに登録された、万博応援隊『SDGirls』は、未来の担い手である中高生とSDGs×万博をつなぐことをポイントとして、共創チャレンジに登録された団体や企業の方をクローズアップし、オンラインイベントやインターネットラジオを通じて情報を発信してきました。

これらの活動を通して、学生たちが学科・学年を超えて交流を深め、主体的に活動し、成長と学びの場となるよう、継続してサポートしていきたいと考えています。



| 大課題                 | 進捗度 | 基本施策              | 具体的施策                                                    | 2023年度事業計画                                                                               | 評価 |
|---------------------|-----|-------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 教育課程の改善             | 57% | 3つのポリシーの継続的な検証と改善 | 学部・学科における3つのポリシーの検証と改善                                   | ミッション（育成する人材像）や教育研究上の目的等、用語の整理・再検討<br>ホームページへの開示                                         | C  |
|                     |     |                   | カリキュラム編成及び運用の改善・向上                                       | 卒業判定・進級判定基準等な厳正な運用<br>学年暦にそったカリキュラムの円滑な運用<br>大学設置基準の改正にともなう、カリキュラム・学年暦など教育課程全般にわたる見直しと改善 | A  |
|                     |     |                   | 教育方法の改善・向上                                               | 更なる教育方法の改善の推進<br>アクティブ・ラーニングやICT活用の推進                                                    | A  |
|                     |     | 学修成果の点検・評価        | 3つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価と学生への浸透                            | 学修成果の点検・評価の実施<br>学修ポートフォリオシステムなどによる、学修成果のふりかえり方法の更なる改善と学生への浸透促進                          | A  |
| 教学マネジメント、教員・職員配置、研修 | 60% | 教学マネジメントの機能性の向上   | 適切な教学マネジメントの体制の再構築                                       | 教学マネジメント体制の再構築による機能性の検証                                                                  | C  |
|                     |     |                   | 教員の配置                                                    | 2022年度に見直した採用、昇任の手続きの実施、検証<br>大学設置基準の改正に伴う基幹教員に係る諸制度の整備                                  | B  |
|                     |     | 教員・職員の職能開発・研修     | FD (Faculty Development) をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施 | FD、その他教員研修の組織的な実施と見直し<br>特に、大学設置基準の改正内容に関わる理解の深化                                         | B  |
|                     |     |                   | 資質・能力の向上に向けた研修の実施                                        | 事務職員向けの研修の在り方を見直し、研修計画を新たに作成し、計画に基づいて実施<br>FD・SD活動推進委員会との連携の元、教職員合同研修の実施                 | B  |
| 研究支援                | 50% | 研究活動の推進・充実        | 外部研究資金獲得への支援の充実                                          | 情報提供、資料作成支援業務継続<br>(応募者数：前年比15%増)                                                        | C  |
|                     |     |                   | 学内のリソースを活かした共同研究の推進                                      | 担当組織の整備<br>学内外の研究担当者のマッチング活動開始<br>(学内外の研究担当者のマッチング件数：1件)                                 | C  |
|                     |     |                   | 研究環境の整備                                                  | (シンポジウムの開催)<br>(研究計画書の提出)<br>(Research map更新)                                            | A  |
|                     |     | 樟蔭美科学研究所の設立・運営    | 樟蔭美科学研究所の設立・運営                                           | 樟蔭美科学シンポジウム毎年開催（外部シンポジスト招聘）<br>外部研究助成の獲得<br>企業からの奨学寄付金の獲得                                | A  |

### 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」とは、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

本学は、学士課程基幹教育の中に『AI・データサイエンス教育プログラム』を取り入れており、この度、申請を行い、審査の上、認定されました。



**M-DASH**  
Literacy  
Approved Program for Mathematics,  
Data Science and AI Smart Higher Education,  
designated by the Gov of Japan

数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
リテラシーレベル

## 樟蔭美科学研究所シンポジウムの開催



グランドデザイン 2030 に「アカデミックな観点から美にアプローチする研究の推進」をビジョンとして掲げる本学では、身体等の外面だけでなく内面も含めて総合的に「美」を研究する機関として「樟蔭美科学研究所」を 2020 年度に設立しました。  
2023 年度はこの研究所を中心に、化粧品に関する「次世代の新技术」をテーマとした、化粧品業界向けの Web セミナーの開催や、「異なる領域を美しさでコラボする」シリーズとしてシンポジウムの一般公開を行い、多数の参加者を集めました。

| 大課題        | 進捗度 | 基本施策                | 具体的施策              | 2023年度事業計画                                                                                        | 評価 |
|------------|-----|---------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 内部質保証      | 58% | 内部質保証のための自己点検・評価の実施 | 定期的な自己点検・評価の実施     | 2022年度の認証評価結果を踏まえた更なる点検・評価サイクルの円滑な運用実行体制の検討<br>2022年度の自己点検評価作業の実施                                 | S  |
|            |     |                     | IR体制の整備・充実         | 教学マネジメントに関する研修会の実施（特に、大学設置基準の改正内容に関わる理解の深化）<br>入試、学務、学生データの学内への開示促進                               | B  |
|            |     |                     | IRデータの積極的活用        | IRデータ活用の再検討<br>IRデータを活用した学園ブランディングの検証                                                             | B  |
| グローバル化への対応 | 49% | 国際化に対応した教育体制の構築     | 内なる国際化に対応した語学教育の充実 | 学士課程基幹教育科目の「外国語」体制の検証と見直し<br>英語での授業展開の検討開始（各学科最低1教科）                                              | A  |
|            |     |                     | 海外研修（派遣）の強化        | 繰り返し検討内容の見直し                                                                                      | B  |
|            |     |                     | 外国人学生の受入れ          | 国内日本語学校と連携<br>留学生市場の開拓・広報活動（教職員を海外へ派遣）<br>短中期留学の充実<br>日研生の受入れ<br>留学生のためのキャリアサポート充実<br>留学生受入れ体制の充実 | A  |
| 地域連携・産学官連携 | 49% | 地域連携                | 地域連携の活性と強化         | 地域との新規テーマ設定（テーマ数：3～4件）<br>地方自治体のテーマに基づく学生プロジェクト等の募集（プロジェクト数：3件）                                   | S  |
|            |     |                     | 附属施設による地域貢献        | 各機関同士の連携活動・事業の実施（各学内組織の地域における利用実績：2020年比15%増）                                                     | S  |
|            |     |                     | 産学官連携              | ・担当組織の整備<br>（学内外の研究担当者のマッチング件数：5件）                                                                | A  |

## 資格の取得状況(2023 年度卒業生)

| 免許・資格等の種類            |     | 学芸学部 | 心理学部 | 児童教育学部 | 健康栄養学部 |
|----------------------|-----|------|------|--------|--------|
| 高校教諭Ⅰ種免許(※2)         | 国語  | 13名  |      |        |        |
|                      | 書道  | 4名   |      |        |        |
|                      | 英語  | 7名   |      |        |        |
|                      | 家庭  | 11名  |      |        | 10名    |
| 中学教諭Ⅰ種免許(※1)(※2)     | 公民  |      |      |        |        |
|                      | 国語  | 12名  |      |        |        |
|                      | 英語  | 7名   |      | 7名     |        |
|                      | 家庭  | 10名  |      |        | 10名    |
| 栄養教諭Ⅰ種免許             | 社会  |      |      |        |        |
| 栄養教諭Ⅱ種免許             |     |      |      |        | 11名    |
| 小学校教諭Ⅰ種免許(※1)(※2)    |     |      |      |        | 6名     |
| 幼稚園教諭Ⅰ種免許(※1)(※2)    |     |      |      | 76名    |        |
| 保育士(※1)(※2)          |     |      |      | 91名    |        |
| 司書教諭                 |     |      |      | 102名   |        |
| 学校司書                 |     | 10名  |      | 5名     |        |
| 日本語教員                |     | 15名  |      | 3名     |        |
|                      | 主専攻 | 5名   |      |        |        |
|                      | 副専攻 | 3名   |      | 1名     |        |
| 司書                   |     | 30名  |      | 6名     | 3名     |
| 学芸員                  |     | 11名  |      |        |        |
| 社会教育主事任用資格           |     | 9名   |      | 1名     |        |
| 社会教育士                |     | 9名   |      | 1名     |        |
| 栄養士                  |     |      |      |        | 111名   |
| 管理栄養士国家試験受験資格        |     |      |      |        | 65名    |
| フードスペシャリスト           |     |      |      |        | 10名    |
| 衣料管理士資格Ⅰ級            |     | 33名  |      |        |        |
| 衣料管理士資格Ⅱ級            |     | 3名   |      |        |        |
| 美容師国家試験受験資格          |     | 25名  |      |        |        |
| 社会調査士                |     | 7名   |      |        |        |
| 精神保健福祉士(PSW)国家試験受験資格 |     | 30名  |      |        |        |

(※1) 各免許の取得状況(児童教育学部)

①幼児+小児+保育士:65名 ②幼児+保育士:23名 ③幼児+小児:3名 ④小児+保育士:0名

⑤小児+中児:7名 ⑥保育士のみ:14名 ⑦幼児のみ:0名 ⑧小児のみ:1名 ⑨中児のみ:0名

(※2) 卒業時に免許状取得者数

## 卒業後の進路状況(2023 年度卒業生 ※2024 年 5 月 1 日現在)

## 〔大学院修了生〕

## ○ 進路先

|             | 修了者数 | 就職 | 大学院 | その他 |
|-------------|------|----|-----|-----|
| 人間栄養学専攻     | 2名   | 1名 | 0名  | 1名  |
| 臨床心理学専攻     | 3名   | 1名 | 0名  | 2名  |
| 化粧ファッション学専攻 | 0名   | 0名 | 0名  | 0名  |
| 大学院計        | 5名   | 2名 | 0名  | 3名  |

## 〔大学卒業生〕

## ○ 進路先

|        | 卒業生数 | 就職   | 大学院 | 大学-短大 | 専門学校 | 留学 | ※その他 |
|--------|------|------|-----|-------|------|----|------|
| 学芸学部   | 362名 | 287名 | 3名  | 1名    | 5名   | 0名 | 66名  |
| 児童教育学部 | 120名 | 113名 | 0名  | 0名    | 0名   | 0名 | 7名   |
| 健康栄養学部 | 111名 | 102名 | 2名  | 0名    | 1名   | 1名 | 5名   |
| 大学計    | 593名 | 502名 | 5名  | 1名    | 6名   | 1名 | 78名  |

※その他…… 就職活動中、アルバイト、家事手伝い等

## ○ 就職決定率

|        | 卒業生数<br>(a) | 就職希望者<br>(b) | 希望率<br>(b/a) | 就職決定者<br>(c) | 決定率<br>(c/b) |
|--------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 学芸学部   | 362名        | 295名         | 81.5%        | 287名         | 97.3%        |
| 児童教育学部 | 120名        | 113名         | 94.2%        | 113名         | 100.0%       |
| 健康栄養学部 | 111名        | 103名         | 92.8%        | 102名         | 99.0%        |
| 大学計    | 593名        | 511名         | 86.2%        | 502名         | 98.2%        |

## ○ 就職先《業種別》

|        | 製造   | 卸売・小売 | 金融・保険 | サービス<br>(教育) | サービス<br>(医療福祉保育) | サービス<br>(その他) | ※その他  |
|--------|------|-------|-------|--------------|------------------|---------------|-------|
| 学芸学部   | 6.9% | 21.5% | 2.8%  | 6.6%         | 10.8%            | 37.9%         | 13.5% |
| 児童教育学部 | 0.9% | 0.9%  | 0%    | 50.4%        | 35.4%            | 5.3%          | 7.1%  |
| 健康栄養学部 | 5.9% | 12.7% | 1.0%  | 8.8%         | 24.5%            | 45.1%         | 2.0%  |

※その他…… 建設、不動産取引、電気・ガス、情報通信、公務等

## 樟蔭中学校・高等学校



校長 小嶋 信男

### 中学校・高等学校の教育方針

建学の精神「知・情・意」を兼ね備えたところ豊かな女性の育成」に基づいて、

- ・「高い知性」と「豊かな情操」を兼ね備えた、社会に貢献できる女性の育成
- ・自ら学び、自ら考える力を養う総合的な学力を育む
- ・自らの興味・関心を深め、能力・適性をさらに伸ばし、将来の目標を達成する力を育む
- ・自らの判断に基づいた行動ができる自立性と、社会生活や学校生活における規範意識の涵養に努めるとともに、様々な教育活動を通して豊かな人間性を育む

を目指して教育活動に取り組みます。

### 樟蔭女子教育の実践



「知・情・意」を兼ね備えた Little Lady を育成するため、挨拶、言葉遣い、身嗜み等、集団生活におけるマナーを「樟蔭レッスン」の時間をはじめとし、学校生活のあらゆる場面で実施しました。

具体的には、挨拶運動や登下校指導、集会時の指導の実施に加え、日常の学校生活における注意等を実施することにより、効果は上がっています。

### 探究学習の充実



「総合的な探究の時間」において、自ら必要な知識や技能を身に付け、探究の意義・価値を理解し、自分で課題を選び、調べ、分析し、表現すること、そしてそれを通して社会に貢献する態度を養うことが求められています。

高校の総合進学コースでは「My Time」を取り入れ、生徒自身が興味・関心のあることについて研究し、発表を行いました。

### 強化クラブの充実



本校では、強化クラブの近畿、全国大会出場を目指しています。  
今年も多くのクラブが全国大会に出場し、優秀な成績を収めました。

【全国大会での成績】※各クラブ！大会のみ抜粋  
(高校)

バトントワリング部：2023JAPAN CUP マーチングバンド・バトントワリング全国大会 優勝  
ポンポンチア部：2023JAPAN CUP マーチングバンド・バトントワリング全国大会 優勝  
ダンス部：第11回全国高等学校ダンス部選手権 DANCE CLUB CHAMPIONSHIP  
全国大会 優勝

(中学)

バトントワリング部：2023JAPAN CUP マーチングバンド・バトントワリング全国大会 優勝  
ポンポンチア部：2023JAPAN CUP マーチングバンド・バトントワリング全国大会 2位  
ダンス部：第11回 全日本小中学生ダンスコンクール 銀賞

# 主な活動の状況〔中長期計画及び事業計画に対する進捗・達成状況〕

| 大課題         | 進捗度 | 基本施策                        | 具体的施策                    | 2023年度事業計画                                                                                                                                                                                                                 | 評価 |
|-------------|-----|-----------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 樟蔭女子教育      | 64% | 「知・情・意」を兼ね備えたLittle Ladyの育成 | 生活指導を通した“Little Lady”の育成 | 挨拶、言葉遣い、身嗜みなど、集団生活におけるマナーを学校生活のあらゆる場面において指導<br>情報モラル教育の内容の確立<br>樟蔭レッスンの内容の確立                                                                                                                                               | S  |
|             |     |                             | キャリア教育の実践                | 進路指導部によるキャリアホームルームの実施・改善<br>興味・関心や能力・適性を理解し、将来について考えることができる段階的な取り組みの検証・改善<br>年間キャリア教育プログラムの効果検証                                                                                                                            | A  |
|             |     |                             | 人間力の育成                   | 人権教育行事の内容の確立<br>自治会指導部によるクラブ活動方針の実践<br>確立した樟蔭スタイルの実施                                                                                                                                                                       | A  |
| 定員充足        | 53% | 生徒及び保護者の口コミによる広報効果の向上       | 満足度の向上                   | 満足度調査の実施・結果の分析（調査検討PT）<br>分析結果をもとに不満点の改善（運営員会）<br>生徒、保護者満足度調査の実施による満足度の把握（満足度：90%以上）                                                                                                                                       | A  |
|             |     |                             | 塾・中学校への効果的な広報の実施         | 実施と見直し                                                                                                                                                                                                                     | C  |
|             |     |                             | メディア企画室による広報活動の充実        | メディア企画室による広報手段（マスコミ、WEB）の見直し<br>広報ツール（パンフ、チラシ等）の見直し                                                                                                                                                                        | C  |
|             |     |                             | 新たな広報活動の実施               | 樟蔭イングリッシュアカデミーの実施                                                                                                                                                                                                          | S  |
|             |     |                             | 高校総合進学コースの特色の明確化         | 高校総合進学コースをSS（セルフスタディ）コースとする<br>高1・2生に導入                                                                                                                                                                                    | B  |
| 教育力の向上（FD）  | 62% | 教員の資質の向上                    | 授業力の向上                   | 各プロジェクトチームによる効果検証と見直し<br>授業アンケートの実施と結果の活用による授業の改善<br>研究授業の実施による授業内容・方法の相互チェックと改善（研究授業：各教科年間2回合計18回）<br>管理職による教員の授業力向上に向けた授業見学及び助言指導（授業見学：各教員年間1回）<br>電子黒板及びメディア教室を活用したICT教育の推進（全授業の80%以上）<br>アクティブラーニングによる授業の充実（全授業の80%以上） | A  |
|             |     |                             | 教員研修の実施                  | 管理職による定期的な研修及び面談の実施<br>「到達目標システム」による目標設定と到達度のチェック                                                                                                                                                                          | B  |
| 進路希望の100%実現 | 64% | 学力の向上                       | 補習等の制度の充実                | 補習授業の実施<br>フォローアップ講座（英・数）（通年週1回）<br>制度補習（国際・看護）<br>個別指導（高3約8名）<br>A0入試対策講座（高3）<br>（進路希望100%実現）                                                                                                                             | A  |
| グローバル化への対応  | 56% | グローバル教育の実践                  | グローバル教育の充実               | i-loungeにおけるグローバル教育の充実を図る行事の見直し<br>英検（準1級2名、2級30名、準2級50名、3級200名）<br>英語弁論大会及び英語暗唱大会<br>国際交流（台湾・ニュージーランドとのSkype交流）<br>学内留学（心理学・児童英語教育）<br>外国人教員による英検講座<br>海外研修（台湾・ニュージーランド・イギリス）                                             | A  |
| サポート体制の充実   | 68% | キャリアサポートクラスの運営の充実           | 強化クラブの充実                 | 4クラス編成の開始<br>（CSクラスの在籍者数：80名）                                                                                                                                                                                              | A  |
|             |     |                             |                          | 外部指導員の採用                                                                                                                                                                                                                   | S  |
| ガバナンスの強化    | 66% | 中高組織の点検と見直し                 | 業務の見直し                   | 各部署・各委員会・各教科で業務の見直しと課題解決に向けた取り組みを継続                                                                                                                                                                                        | A  |
|             |     |                             | 会議の活性化と時間短縮              | 会議の活性化と時間短縮の継続                                                                                                                                                                                                             | A  |
|             |     |                             | 教員の授業持ち時間数の見直し           | 前年度の取り組みの見直しと改善                                                                                                                                                                                                            | A  |
|             |     |                             | 外部評価による組織の改善             | 外部評価の結果の現場への取り入れと履行<br>前年度の評価結果の反映<br>年度末に外部評価委員会を実施                                                                                                                                                                       | S  |
| 安心・安全な環境の提供 | 64% | 環境整備                        | トイレ及び教室等の改修              | 改善計画をもとに、不備を改善                                                                                                                                                                                                             | A  |
|             |     |                             | 災害対策                     | 避難訓練の実施（年1回）<br>生徒用災害備蓄品の完備<br>生徒用災害備蓄品の見直し                                                                                                                                                                                | A  |

# 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

## 幼稚園の保育方針

「未来を生きるための根っこを育てる保育」を保育方針に、子ども達が主体的に取り組める保育、受け止めて伸ばす保育を目指します。

園長 門 正博



## 総合学園としての教育環境



高校の生徒や大学児童教育学部学生との交流、大学教員による子育て講座や、健康栄養学部による食育指導等を行い、総合学園としての強みを活かしました。

## 子育て支援の充実



子育て支援の一環として、夏休み・冬休みの預かり保育を行っています。また、子育て支援事業として地域の未就園のお子様を対象に園庭開放を行っており、2023年度も積極的に行いました。

## 主な活動の状況〔中長期計画及び事業計画に対する進捗・達成状況〕

| 大課題       |           | 基本施策       | 具体的施策                           | 2023年度事業計画                                 | 評価      |
|-----------|-----------|------------|---------------------------------|--------------------------------------------|---------|
| 入園者の確保    | 65%       | 教育の質向上     | カリキュラムの充実                       | 保育内容の検証と改善のサイクル定着                          | S       |
|           |           | 職員の質の向上    | 職員間の共通理解                        | 全職員が共通理解を図るためのミーティング実施<br>可視化した保育内容の更新     | S       |
|           |           |            | 研修の充実                           | 現在の園内研修（アドバイザーを招いた保育研修）について、実施内容・時期の見直しと改善 | A       |
|           |           | 子育て支援の充実   | 長期休暇中の預かり保育の実施                  | 検証と改善                                      | S       |
|           |           |            | 給食の増加                           | 週3回の給食の実施                                  | S       |
|           |           | 商圏エリアの拡大   | 車送迎の実現                          | 本格導入の検証と改善                                 | S       |
|           |           | 広報活動       | ポスター貼り、広告配布、Web<br>広告、ホームページの充実 | 新しい広報媒体を含め、有効な広報媒体の活用・検討                   | A       |
|           |           | 未就園児の確保    | 48%                             | 未就園児クラスの充実                                 | 保育時間の延長 |
| 園庭開放の充実   | 広報、SNSの強化 |            |                                 | 改善した広報の実行<br>引き続きアンケートを通して広報の効果の検証         | A       |
|           | 内容の充実     |            |                                 | 実施時に行ったアンケートや、他園の取り組みを参考に、内容の検討、充実         | A       |
|           | 安心・安全の確保  |            |                                 | 66%                                        | 環境整備    |
| 大学・高校との連携 | 54%       |            | 健康栄養学科との連携                      | 試行状況の検証と実施                                 | S       |
|           |           |            | 化粧ファッション学科との連携                  | 学科との話し合い、連携内容のまとめ                          | C       |
|           |           | 様々な学科等との連携 | 児童教育学科との連携                      | 児童教育学科との連携強化                               | S       |
|           |           |            | ELTC（組織変更後SILC）との連携             | 試行状況の検証と実施                                 | A       |
|           |           |            | 児童教育コース（高校）との連携                 | 児童教育コースとの関係を維持する                           | S       |
|           |           |            | 地域との連携                          | 0%                                         | 地域交流の充実 |

# 学校法人樟蔭学園

## 理事会・評議員会の開催

| 〔理事会〕 ※出席理事者数には、意思表示者を含む |               |                  |       | 〔評議員会〕 ※出席評議員数には、意思表示者を含む |              |                    |       |
|--------------------------|---------------|------------------|-------|---------------------------|--------------|--------------------|-------|
|                          | 開催日           | 出席理事者数           | 出席監事数 |                           | 開催日          | 出席評議員数             | 出席監事数 |
| 2023 年                   | 4 月 20 日 (木)  | 9 名              | 2 名   | 2023 年                    | 5 月 30 日 (火) | 23 名               | 2 名   |
|                          | 5 月 30 日 (火)  | 9 名              | 2 名   | 2024 年                    | 3 月 4 日 (月)  | 24 名               | 2 名   |
|                          | 5 月 30 日 (火)  | 9 名              | 2 名   | 2024 年                    | 3 月 29 日 (金) | 25 名               | 2 名   |
|                          | 6 月 15 日 (木)  | 9 名              | 2 名   | 合 計 3 回                   |              | 2023 年度の評議員定数 25 名 |       |
|                          | 7 月 20 日 (木)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 9 月 21 日 (木)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 10 月 19 日 (木) | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 11 月 16 日 (木) | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 12 月 21 日 (木) | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 1 月 18 日 (木)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
| 2024 年                   | 2 月 15 日 (木)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 3 月 4 日 (月)   | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 3 月 4 日 (月)   | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 3 月 29 日 (金)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
|                          | 3 月 29 日 (金)  | 9 名              | 2 名   |                           |              |                    |       |
| 合 計 15 回                 |               | 2023 年度の理事定数 9 名 |       |                           |              |                    |       |

## 主な活動の状況〔中長期計画及び事業計画に対する進捗・達成状況〕

| 大課題              |     | 基本施策                   | 具体的施策                        | 2023年度事業計画                                                                                                                                                       | 評価 |
|------------------|-----|------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 建学の精神の浸透         | 59% | 建学の精神に基づく学園ブランディングの再構築 | 建学の精神とその現代的解釈の学内外への浸透策の検討・実施 | 具現化した取り組み内容の定着<br>学外への発信強化                                                                                                                                       | B  |
| 中高大接続            | 46% |                        | 各コースと学科の連携強化                 | 連携内容の見直しと改善                                                                                                                                                      | A  |
|                  |     |                        | 教育プログラムの接続                   | 内部校、協定校を対象に、新しい単位認定制度の実施<br>新しい初年次教育の見直しと改善                                                                                                                      | B  |
|                  |     | 中高大の連携強化               | 内部進学への推進と入試制度の整備             | 内部校への進学メリットの訴求強化<br>新入試制度下での内部進学の魅力訴求<br>財務メリットの見直し<br>各行事の実施と内容の改善及び効果検証（中高全教員対象学部学科説明会、高3担任情報交換会、生徒対象進路説明会、学科別説明会、大学授業体験、中高保護者対象説明会、リソースを活かした連携イベント、オープンキャンパス） | A  |
| 経営・ガバナンス強化       | 68% | 理事会機能の強化               | 役員の職務及び責任の明確化                | 役員機能の強化（研修等の実施）<br>ガバナンスコード点検を行い、ガバナンスコードに沿った運営基盤の強化                                                                                                             | C  |
|                  |     | 中期的な計画の策定              | 第Ⅲ期中長期計画アクションプランの実行          | 2023年度アクションプランの確実な実行と管理                                                                                                                                          | S  |
|                  |     | 情報公開の充実                | 法人・教学部門双方の積極的な情報公開           | 積極的な公開による透明性の確保                                                                                                                                                  | S  |
| 働き方改革や、制度・運用の見直し | 47% | 時間外労働の削減               | 業務負荷分析による適正な人員配置と適材配置        | 業務負荷分析の見直し<br>人員と適材の配置の見直し                                                                                                                                       | C  |
|                  |     | 同一労働同一賃金の導入            | 身分や業務に即した役割と待遇の明確化           | 必要に応じて労働者へ説明                                                                                                                                                     | A  |
|                  |     | 規程の整備                  | 規程体系と諸規定の見直し                 | 法令と本学園の現状の整合性を確認し、必要に応じ改正規程に定められているとおり履行されているか確認し、必要に応じ改正または制定<br>規程の内容について、実態と齟齬がないか確認し、整備                                                                      | A  |
|                  |     |                        | 手当や申請書の見直し                   | 2022年度に収集した他大学からの情報を以て、手当の見直し及び関連規程の改正の検討                                                                                                                        | C  |
|                  |     | 危機管理対策の充実              | 危機管理マニュアルの見直しと危機管理体制の強化      | 避難訓練や他大学の調査も含めて、再度危機管理マニュアルの見直し                                                                                                                                  | A  |

| 大課題                   |                                      | 基本施策                          | 具体的施策                                       | 2023年度事業計画                                                                                                                                                                                                                            | 評価        |                             |
|-----------------------|--------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------|
| 人財の育成                 | 46%                                  | 学校職員としての資<br>質向上              | 階層研修の見直し                                    | 研修の実施状況の確認と検証                                                                                                                                                                                                                         | A         |                             |
|                       |                                      |                               | 0JT型（学内講師）研修の充実                             | 次年度0JT研修の立案と実施（講師：管理職・一般職）                                                                                                                                                                                                            | A         |                             |
| 寄付金募集                 | 43%                                  | 寄付金収入の確保                      | 寄付に協力しやすい環境づく<br>り                          | 趣意書や振込方法の効果検証<br>その他の協力しやすい環境づくりの検討もしくは実行                                                                                                                                                                                             | A         |                             |
|                       |                                      |                               | 寄付者データの整備                                   | 寄付者データベースの運用と活用（卒業生の名簿とマッ<br>チング）                                                                                                                                                                                                     | S         |                             |
| 知名度の向<br>上            | 58%                                  | 学園としての広報活<br>動の強化             | 学内外への情報発信力の強化                               | 検証と実行<br>（プレスリリース：40件、報道機関からの取材：25件）                                                                                                                                                                                                  | B         |                             |
|                       |                                      |                               | 学園で一貫した戦略による広<br>報活動の充実                     | 駅看板、駅貼り等の見直しと改善<br>新たな広報活動の実施                                                                                                                                                                                                         | B         |                             |
| 樟蔭愛の顕<br>在化           | 30%                                  | 卒業生（同窓生含<br>む）とのネットワー<br>クの強化 | ホームカミングデーの企画・<br>運営                         | 企画・運営の検証・改善<br>（参加者数：250名以上）                                                                                                                                                                                                          | S         |                             |
|                       |                                      |                               | 同窓会との連携及び相互協力<br>関係の強化                      | 卒業生向けの講演会等のイベントの実施<br>学年会・クラス会等へのサポート体制の導入                                                                                                                                                                                            | A         |                             |
|                       |                                      |                               | 学園報「くすのき」の発行と<br>卒業生向けのSNS「樟蔭ファミ<br>リリー」の発信 | 2022年度の検証をもとに、楽しみにしてもらえるツール<br>への改善<br>「樟蔭ファミリー」のインスタグラムの実施<br>「樟蔭ファミリー」のフェイスブックの実施                                                                                                                                                   | C         |                             |
|                       |                                      |                               | 卒業生のデータベースの構築<br>と活用                        | 卒業生名簿の管理業務を同窓会から学園側へ移管できるよう<br>調整することについて、要再検討                                                                                                                                                                                        | E         |                             |
| 歴史資料の<br>管理           | 18%                                  | 歴史資料の整理と保<br>管                | 資料目録のデータベース化の<br>構築と活用                      | 資料の整理<br>目録をもとに、データベースの構築                                                                                                                                                                                                             | C         |                             |
| 安心・安全<br>な教育環境<br>の提供 | 71%                                  | 環境整備                          | 施設・設備の運営維持                                  | 施設・設備の環境を維持・保全するため、関係法令を遵<br>守し、法定点検・定期点検を確実に実施・報告<br>施設・設備等5カ年計画を立案し、実施する修繕工事・改<br>修工事の計画を推進<br>施設・設備の日常的な点検に基づき事前措置を行い、異<br>常発生時には速やかに修繕を実施<br>設備中央監視システムで設備の稼働・消費状態を監視・<br>制御し、効率的な設備運用管理を実施<br>事故・災害に対する事前の安全対策及び、被災後の復旧<br>対応の実施 | A         |                             |
|                       |                                      |                               |                                             | 施設の耐震化                                                                                                                                                                                                                                | 計画なし（完了）  |                             |
|                       |                                      |                               |                                             | 遊休不動産の活用                                                                                                                                                                                                                              | 計画をもとに実行  | C                           |
|                       |                                      |                               | 安定した財<br>務基盤の確<br>立                         | 60%                                                                                                                                                                                                                                   | 収支バランスの改善 | 毎年度の提示予算の算出及<br>び、実績比率による検証 |
| 施設・設備等5か年計画の検証        | 目標達成状況に基づく施設・設備等5か年計画の検証と問<br>題点の見直し | S                             |                                             |                                                                                                                                                                                                                                       |           |                             |
| 遊休不動産の整理              | 遊休不動産の処分                             | 計画をもとに実行                      |                                             |                                                                                                                                                                                                                                       | C         |                             |

### 卒業生とのネットワークの強化

本学園では、卒業生の交流促進、愛校心の醸成、大学からの情報発信など、卒業生との関係強化を目的として、毎年ホームカミングデーを行っており、2023年度はコロナ禍で実施できなかった年度分もあわせて実施しました。さらに2023年度は、地方在住の卒業生を対象とした「樟蔭のつどい」を8年ぶりに、岡山で開催しました。参加者の方々は樟蔭時代の懐かしい思い出話に花を咲かせ、和やかで明るい空気が流れていました。今後も継続した開催に向けて取り組んでいきます。



## Ⅲ 財務の概要

### (I) 決算の概要

#### ①貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

##### 貸借対照表（2024 年 3 月 31 日現在）

（単位 千円）

| 科 目                | 2023年度末           | 2022年度末           | 増 減              | 備 考 |
|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----|
| <b>資産の部</b>        |                   |                   |                  |     |
| 固定資産               | 17,999,250        | 18,637,451        | △ 638,201        |     |
| 有形固定資産             | 15,515,645        | 16,300,262        | △ 784,617        |     |
| 特定資産               | 2,199,263         | 2,137,067         | 62,196           |     |
| その他の固定資産           | 284,342           | 200,123           | 84,220           |     |
| 流動資産               | 1,815,718         | 1,938,287         | △ 122,569        |     |
| <b>資産の部合計</b>      | <b>19,814,968</b> | <b>20,575,738</b> | <b>△ 760,770</b> |     |
| <b>負債の部</b>        |                   |                   |                  |     |
| 固定負債               | 3,793,818         | 4,062,285         | △ 268,467        |     |
| 流動負債               | 733,721           | 782,134           | △ 48,413         |     |
| <b>負債の部合計</b>      | <b>4,527,539</b>  | <b>4,844,419</b>  | <b>△ 316,880</b> |     |
| <b>純資産の部</b>       |                   |                   |                  |     |
| 基本金                | 31,803,733        | 31,620,926        | 182,808          |     |
| 1号基本金              | 31,475,733        | 31,292,926        | 182,808          |     |
| 4号基本金              | 328,000           | 328,000           | 0                |     |
| 繰越収支差額             | △ 16,516,304      | △ 15,889,607      | △ 626,698        |     |
| 翌年度繰越収支差額          | △ 16,516,304      | △ 15,889,607      | △ 626,698        |     |
| <b>純資産の部合計</b>     | <b>15,287,429</b> | <b>15,731,319</b> | <b>△ 443,890</b> |     |
| <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>19,814,968</b> | <b>20,575,738</b> | <b>△ 760,770</b> |     |
| 減価償却額の累計額の合計       | 16,735,991        | 15,966,824        | 769,167          |     |
| 基本金未組入額            | 711,376           | 922,486           | △ 211,110        |     |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

貸借対照表の主な内容は、次の通りです。

#### 【資産の部】

有形固定資産・・・当年度における、減価償却額の増額により減額。  
 特定資産・・・主に、減価償却引当特定資産の増額による増額。  
 その他の固定資産・・・主に、有価証券等の増額による増額。  
 流動資産・・・主に、有価証券等の減額による減額。

#### 【負債の部】

固定負債・・・主に、返済期限が1年以内の長期借入金を短期借入金への振替による減額。  
 流動負債・・・主に、前受金、預り金等の減額による減額。

#### 【純資産の部】

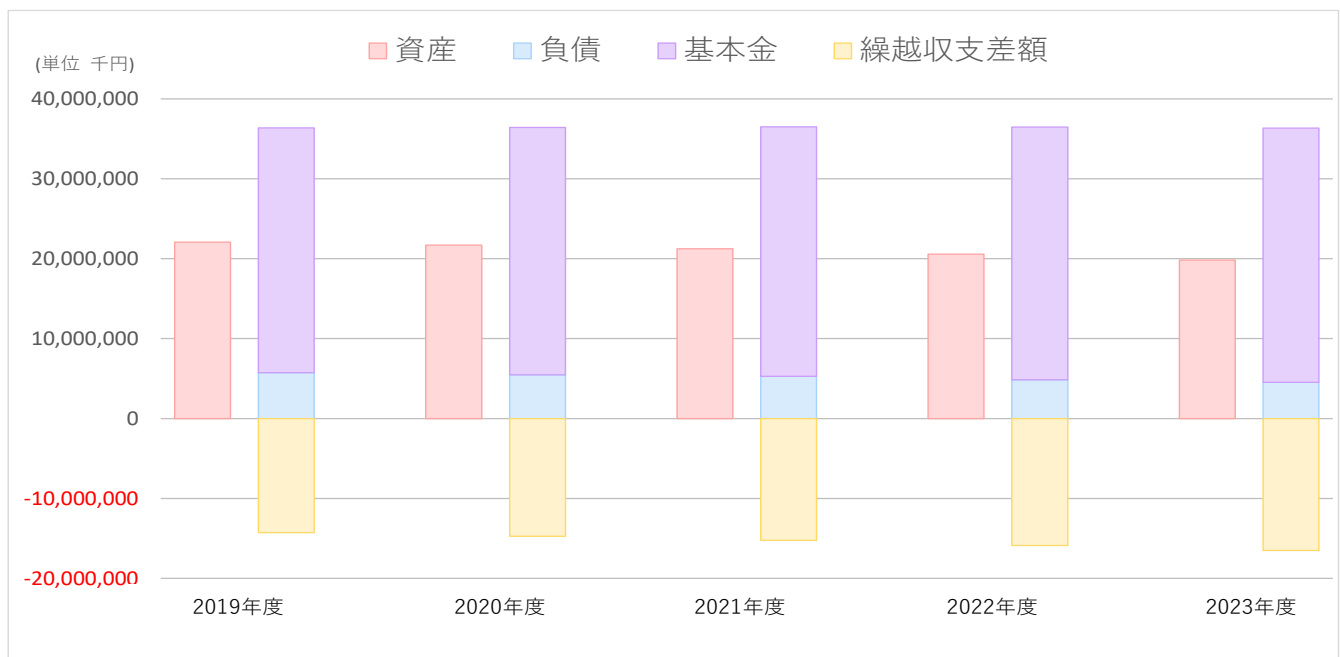
基本金・・・本年度の施設設備の充実及び過年度未組入れに係る当期組入による増額。  
 繰越収支差額・・・前年度より 626,698 千円減額し △16,516,304 千円となりました。

## 貸借対照表の経年比較

(単位 千円)

| 科 目                | 2019年度末           | 2020年度末           | 2021年度末           | 2022年度末           | 2023年度末           |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| <b>資産の部</b>        |                   |                   |                   |                   |                   |
| 固定資産               | 20,325,973        | 19,690,414        | 19,101,361        | 18,637,451        | 17,999,250        |
| 有形固定資産             | 18,254,513        | 17,575,713        | 16,921,967        | 16,300,262        | 15,515,645        |
| 特定資産               | 1,960,715         | 2,013,219         | 2,079,036         | 2,137,067         | 2,199,263         |
| その他の固定資産           | 110,746           | 101,483           | 100,358           | 200,123           | 284,342           |
| 流動資産               | 1,756,961         | 2,011,721         | 2,151,681         | 1,938,287         | 1,815,718         |
| <b>資産の部合計</b>      | <b>22,082,934</b> | <b>21,702,136</b> | <b>21,253,042</b> | <b>20,575,738</b> | <b>19,814,968</b> |
| <b>負債の部</b>        |                   |                   |                   |                   |                   |
| 固定負債               | 4,878,686         | 4,591,695         | 4,330,546         | 4,062,285         | 3,793,818         |
| 流動負債               | 847,500           | 877,225           | 940,043           | 782,134           | 733,721           |
| <b>負債の部合計</b>      | <b>5,726,185</b>  | <b>5,468,920</b>  | <b>5,270,589</b>  | <b>4,844,419</b>  | <b>4,527,539</b>  |
| <b>純資産の部</b>       |                   |                   |                   |                   |                   |
| 基本金                | 30,646,868        | 30,961,797        | 31,230,224        | 31,620,926        | 31,803,733        |
| 1号基本金              | 30,318,868        | 30,633,797        | 30,902,224        | 31,292,926        | 31,475,733        |
| 4号基本金              | 328,000           | 328,000           | 328,000           | 328,000           | 328,000           |
| 繰越収支差額             | △ 14,290,120      | △ 14,728,581      | △ 15,247,771      | △ 15,889,607      | △ 16,516,304      |
| 翌年度繰越収支差額          | △ 14,290,120      | △ 14,728,581      | △ 15,247,771      | △ 15,889,607      | △ 16,516,304      |
| <b>純資産の部合計</b>     | <b>16,356,749</b> | <b>16,233,216</b> | <b>15,982,453</b> | <b>15,731,319</b> | <b>15,287,429</b> |
| <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>22,082,934</b> | <b>21,702,136</b> | <b>21,253,042</b> | <b>20,575,738</b> | <b>19,814,968</b> |
| 減価償却額の累計額の合計       | 13,655,002        | 14,445,284        | 15,168,479        | 15,966,824        | 16,735,991        |
| 基本金未組入額            | 1,555,816         | 1,344,706         | 1,133,596         | 922,486           | 711,376           |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。



## イ) 財務比率の経年比較

(単位 %) )

| 比率名                |                | 算式                                 | 2019             | 2020             | 2021             | 2022             | 2023  |
|--------------------|----------------|------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 自己資金は充実されているか      | 純資産構成比率        | 純資産 / (総負債 + 純資産)                  | 74.1<br>(87.7)   | 74.8<br>(87.9)   | 75.2<br>(87.7)   | 76.5<br>(87.8)   | 77.2  |
|                    | 繰越収支差額構成比率     | 繰越収支差額 / (総負債 + 純資産)               | -64.7<br>(-20.0) | -67.9<br>(-20.5) | -71.7<br>(-20.5) | -77.2<br>(-20.1) | -83.4 |
|                    | 基本金比率          | 基本金 / 基本金要組入額                      | 95.2<br>(97.4)   | 95.8<br>(97.7)   | 96.5<br>(97.4)   | 97.2<br>(97.4)   | 97.8  |
| 長期資金で固定資産は賄われているか  | 固定比率           | 固定資産 / 純資産                         | 124.3<br>(96.6)  | 121.3<br>(95.3)  | 119.5<br>(95.3)  | 118.5<br>(94.6)  | 117.7 |
|                    | 固定長期適合率        | 固定資産 / (純資産 + 固定負債)                | 95.7<br>(89.7)   | 94.6<br>(88.6)   | 94.0<br>(88.3)   | 94.2<br>(87.7)   | 94.3  |
| 資産構成はどうか           | 固定資産構成比率       | 固定資産 / 総資産                         | 92.0<br>(84.8)   | 90.7<br>(83.8)   | 89.9<br>(83.6)   | 90.6<br>(83.1)   | 90.8  |
|                    | 有形固定資産構成比率     | 有形固定資産 / 総資産                       | 82.7<br>(59.2)   | 81.0<br>(58.5)   | 79.6<br>(57.2)   | 79.2<br>(56.3)   | 78.3  |
|                    | 特定資産構成比率       | 特定資産 / 総資産                         | 8.9<br>(21.8)    | 9.3<br>(21.5)    | 9.8<br>(22.6)    | 10.4<br>(22.5)   | 11.1  |
|                    | 流動資産構成比率       | 流動資産 / 総資産                         | 8.0<br>(15.2)    | 9.3<br>(16.2)    | 10.1<br>(16.4)   | 9.4<br>(16.9)    | 9.2   |
|                    | 減価償却比率         | 減価償却累計額(図書を除く) / 減価償却資産取得価額(図書を除く) | 52.3<br>(53.9)   | 54.9<br>(55.0)   | 57.3<br>(56.0)   | 59.8<br>(56.8)   | 62.5  |
| 負債に備える資産の蓄積がされているか | 内部留保資産比率       | (運用資産 - 総負債) / 総資産                 | -9.8<br>(25.5)   | -7.8<br>(26.0)   | -6.5<br>(27.0)   | -4.1<br>(27.8)   | -2.4  |
|                    | 運用資産余裕比率(※)    | (運用資産 - 外部負債) / 経常支出               | 0.1<br>(1.5)     | 0.1<br>(1.5)     | 0.2<br>(1.6)     | 0.3<br>(1.6)     | 0.3   |
|                    | 流動比率           | 流動資産 / 流動負債                        | 207.3<br>(278.3) | 229.3<br>(300.4) | 228.9<br>(306.1) | 247.8<br>(321.9) | 247.5 |
|                    | 前受金保有率         | 現金預金 / 前受金                         | 365.0<br>(436.4) | 485.0<br>(451.5) | 548.0<br>(476.7) | 533.9<br>(533.8) | 603.3 |
|                    | 退職給与引当金特定資産保有率 | 退職給与引当金特定資産 / 退職給与引当金              | 25.0<br>(57.2)   | 25.0<br>(57.3)   | 25.0<br>(62.1)   | 25.0<br>(57.1)   | 25.0  |
| 負債の割合はどうか          | 固定負債構成比率       | 固定負債 / (総負債 + 純資産)                 | 22.1<br>(6.8)    | 21.2<br>(6.7)    | 20.4<br>(7.0)    | 19.7<br>(6.9)    | 19.1  |
|                    | 流動負債構成比率       | 流動負債 / (総負債 + 純資産)                 | 3.8<br>(5.5)     | 4.0<br>(5.4)     | 4.4<br>(5.4)     | 3.8<br>(5.3)     | 3.7   |
|                    | 総負債比率          | 総負債 / 総資産                          | 25.9<br>(12.3)   | 25.2<br>(12.1)   | 24.8<br>(12.3)   | 23.5<br>(12.2)   | 22.8  |
|                    | 負債比率           | 総負債 / 純資産                          | 35.0<br>(14.0)   | 33.7<br>(13.7)   | 33.0<br>(14.1)   | 30.8<br>(13.9)   | 29.6  |
| 運用資産の保有状況はどうか      | 積立率            | 運用資産 / 要積立額                        | 22.8<br>(70.3)   | 23.1<br>(69.3)   | 22.9<br>(70.3)   | 22.5<br>(70.7)   | 22.0  |

( ) は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」による全国大学法人規模別(3~5千人)比率

(※) 運用資産余裕比率については、[単位 年]である。

■ 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 + 現金預金 ■ 外部負債 = 借入金(固定・流動) + 未払金

■ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給与引当金 + 2号基本金 + 3号基本金

## ②資金収支計算書関係

## ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

資金収支計算書（2023年4月1日から2024年3月31日）

（単位 千円）

| 科 目         | 2023年度    |           | 差異        | 備考 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|----|
|             | 予算額       | 決算額       |           |    |
| 収入の部        |           |           |           |    |
| 学生生徒等納付金収入  | 3,205,764 | 3,192,035 | 13,729    |    |
| 手数料収入       | 24,341    | 24,875    | △ 534     |    |
| 寄付金収入       | 41,263    | 42,445    | △ 1,182   |    |
| 補助金収入       | 824,856   | 839,868   | △ 15,012  |    |
| 資産売却収入      | 309,761   | 309,792   | △ 31      |    |
| 付随事業・収益事業収入 | 25,364    | 23,768    | 1,596     |    |
| 受取利息・配当金収入  | 58,190    | 58,189    | 1         |    |
| 雑収入         | 126,690   | 128,244   | △ 1,554   |    |
| 借入金等収入      | 0         | 0         | 0         |    |
| 前受金収入       | 178,884   | 178,767   | 117       |    |
| その他の収入      | 389,231   | 395,838   | △ 6,607   |    |
| 資金収入調整勘定    | △ 310,009 | △ 314,044 | 4,035     |    |
| 前年度繰越支払資金   | 1,067,952 | 1,067,952 | 0         |    |
| 収入の部合計      | 5,942,287 | 5,947,730 | △ 5,443   |    |
| 支出の部        |           |           |           |    |
| 人件費支出       | 2,461,599 | 2,446,667 | 14,932    |    |
| 教育研究経費支出    | 1,155,060 | 1,124,317 | 30,743    |    |
| 管理経費支出      | 241,701   | 223,552   | 18,149    |    |
| 借入金等利息支出    | 11,889    | 11,889    | 0         |    |
| 借入金等返済支出    | 211,110   | 211,110   | 0         |    |
| 施設関係支出      | 172,426   | 165,966   | 6,460     |    |
| 設備関係支出      | 34,647    | 34,287    | 361       |    |
| 資産運用支出      | 627,901   | 627,901   | 0         |    |
| その他の支出      | 241,415   | 240,917   | 498       |    |
| 〔予備費〕       | ( 47,383) |           | 32,617    |    |
|             | 32,617    |           |           |    |
| 資金支出調整勘定    | △ 210,305 | △ 217,462 | 7,157     |    |
| 翌年度繰越支払資金   | 962,227   | 1,078,586 | △ 116,359 |    |
| 支出の部合計      | 5,942,287 | 5,947,730 | △ 5,443   |    |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

資金収支計算書（予算との対比）の主な内容は、次の通りです。

## 【資金収入の部】

主に、寄付金収入、補助金収入、雑収入、その他の収入等において見込みより増額、学生生徒等納付金収入、付随事業・収益事業収入、資金収入調整勘定等において見込みより減額となりました。資金収入の部は、見込みより 5,443 千円増額の 4,879,778 千円となり、前年度繰越支払資金を含めた資金収入の部としましては 5,947,730 千円となりました。

## 【資金支出の部】

主に、予備費を含め人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、資金支出調整勘定等において見込みより減額となりました。資金支出の部としましては、翌年度繰越支払資金を除き見込みより 110,916 千円減額し 4,869,144 千円となりました。

## 【翌年度繰越支払資金】

上記の結果、翌年度繰越支払資金は 1,078,586 千円となりました。

## 資金収支内訳表（2023年4月1日から2024年3月31日）

（単位 千円）

| 科目            | 学校法人           | 大阪樟蔭<br>女子大学     | 樟 蔭<br>高等学校    | 樟 蔭<br>中学校     | 大阪樟蔭<br>女子大学<br>附属幼稚園 | 総計               |
|---------------|----------------|------------------|----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| <b>収入の部</b>   |                |                  |                |                |                       |                  |
| 学生生徒等納付金収入    | 0              | 2,701,933        | 283,975        | 159,824        | 46,303                | 3,192,035        |
| 手数料収入         | 0              | 17,485           | 5,174          | 1,961          | 255                   | 24,875           |
| 寄付金収入         | 0              | 31,710           | 6,471          | 3,582          | 682                   | 42,445           |
| 補助金収入         | 0              | 456,085          | 278,113        | 72,938         | 32,732                | 839,868          |
| 資産売却収入        | 309,762        | 22               | 5              | 2              | 1                     | 309,792          |
| 付随事業・収益事業収入   | 1,980          | 14,620           | 0              | 0              | 7,168                 | 23,768           |
| 受取利息・配当金収入    | 14,801         | 31,496           | 7,186          | 3,078          | 1,627                 | 58,189           |
| 雑収入           | 24,829         | 72,806           | 3,263          | 26,533         | 813                   | 128,244          |
| 借入金等収入        | 0              | 0                | 0              | 0              | 0                     | 0                |
| <b>収入の部合計</b> | <b>351,372</b> | <b>3,326,158</b> | <b>584,187</b> | <b>267,919</b> | <b>89,580</b>         | <b>4,619,216</b> |
| <b>支出の部</b>   |                |                  |                |                |                       |                  |
| 人件費支出         | 94,153         | 1,678,128        | 433,766        | 181,895        | 58,725                | 2,446,667        |
| 教育研究経費支出      | 348            | 906,104          | 136,397        | 63,777         | 17,692                | 1,124,317        |
| 管理経費支出        | 4,424          | 170,480          | 28,528         | 12,022         | 8,098                 | 223,552          |
| 借入金等利息支出      | 0              | 11,889           | 0              | 0              | 0                     | 11,889           |
| 借入金等返済支出      | 0              | 211,110          | 0              | 0              | 0                     | 211,110          |
| 施設関係支出        | 0              | 94,796           | 20,007         | 8,570          | 42,594                | 165,966          |
| 設備関係支出        | 120            | 32,294           | 1,246          | 513            | 115                   | 34,287           |
| <b>支出の部合計</b> | <b>99,045</b>  | <b>3,104,799</b> | <b>619,943</b> | <b>266,776</b> | <b>127,224</b>        | <b>4,217,787</b> |

注）千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

## 資金収支計算書の経年比較

(単位 千円)

| 科目            | 2019年            | 2020年            | 2021年            | 2022年            | 2023年            |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| <b>収入の部</b>   |                  |                  |                  |                  |                  |
| 学生生徒等納付金収入    | 3,756,874        | 3,868,860        | 3,697,474        | 3,488,474        | 3,192,035        |
| 手数料収入         | 52,454           | 34,320           | 33,624           | 30,335           | 24,875           |
| 寄付金収入         | 68,133           | 48,765           | 41,212           | 55,560           | 42,445           |
| 補助金収入         | 791,944          | 1,007,719        | 1,024,765        | 899,771          | 839,868          |
| 資産売却収入        | 184,708          | 8,203            | 215,676          | 9,762            | 309,792          |
| 付随事業・収益事業収入   | 26,765           | 19,358           | 21,586           | 21,192           | 23,768           |
| 受取利息・配当金収入    | 34,573           | 24,415           | 34,490           | 51,246           | 58,189           |
| 雑収入           | 108,166          | 130,553          | 194,120          | 159,468          | 128,244          |
| 借入金等収入        | 0                | 0                | 5,771            | 0                | 0                |
| 前受金収入         | 276,585          | 239,739          | 222,273          | 200,015          | 178,767          |
| その他の収入        | 255,459          | 231,895          | 282,491          | 354,988          | 395,838          |
| 資金収入調整勘定      | △ 381,030        | △ 446,422        | △ 529,762        | △ 357,629        | △ 314,044        |
| 前年度繰越支払資金     | 842,808          | 1,009,616        | 1,162,636        | 1,218,049        | 1,067,952        |
| <b>収入の部合計</b> | <b>6,017,439</b> | <b>6,177,020</b> | <b>6,406,355</b> | <b>6,131,230</b> | <b>5,947,730</b> |
| <b>支出の部</b>   |                  |                  |                  |                  |                  |
| 人件費支出         | 2,864,225        | 2,824,943        | 2,900,551        | 2,571,905        | 2,446,667        |
| 教育研究経費支出      | 924,649          | 1,189,692        | 1,160,179        | 1,205,547        | 1,124,317        |
| 管理経費支出        | 352,835          | 345,476          | 308,017          | 292,229          | 223,552          |
| 借入金等利息支出      | 16,111           | 15,055           | 14,003           | 12,944           | 11,889           |
| 借入金等返済支出      | 211,110          | 211,110          | 216,881          | 211,110          | 211,110          |
| 施設関係支出        | 295,910          | 212,958          | 247,319          | 269,483          | 165,966          |
| 設備関係支出        | 138,852          | 59,808           | 75,447           | 40,695           | 34,287           |
| 資産運用支出        | 134,348          | 166,030          | 330,866          | 324,469          | 627,901          |
| その他の支出        | 272,479          | 213,538          | 276,279          | 361,652          | 240,917          |
| 資金支出調整勘定      | △ 202,696        | △ 224,226        | △ 341,236        | △ 226,756        | △ 217,462        |
| 翌年度繰越支払資金     | 1,009,616        | 1,162,636        | 1,218,049        | 1,067,952        | 1,078,586        |
| <b>支出の部合計</b> | <b>6,017,439</b> | <b>6,177,020</b> | <b>6,406,355</b> | <b>6,131,230</b> | <b>5,947,730</b> |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

## 活動区分資金収支計算書の経年比較

(単位 千円)

| 科目                           |               | 2019年度       | 2020年度    | 2021年度    | 2022年度    | 2023年度    |           |
|------------------------------|---------------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育活動による資金収支                  | 収入            | 学生生徒等納付金収入   | 3,756,874 | 3,868,860 | 3,697,474 | 3,488,474 | 3,192,035 |
|                              |               | 手数料収入        | 52,454    | 34,320    | 33,624    | 30,335    | 24,875    |
|                              |               | 特別寄付金収入      | 27,430    | 24,271    | 22,238    | 38,422    | 28,664    |
|                              |               | 一般寄付金収入      | 25,512    | 17,555    | 15,225    | 16,146    | 7,833     |
|                              |               | 経常費等補助金収入    | 791,944   | 980,105   | 930,724   | 899,771   | 839,868   |
|                              |               | 付随事業収入       | 26,765    | 19,358    | 21,586    | 21,192    | 23,768    |
|                              |               | 雑収入          | 108,166   | 130,553   | 194,120   | 159,468   | 128,244   |
|                              |               | 教育活動資金収入計    | 4,789,145 | 5,075,022 | 4,914,992 | 4,653,808 | 4,245,286 |
|                              | 支出            | 人件費支出        | 2,864,225 | 2,824,943 | 2,900,551 | 2,571,905 | 2,446,667 |
|                              |               | 教育研究経費支出     | 924,649   | 1,189,692 | 1,160,179 | 1,205,547 | 1,124,317 |
|                              |               | 管理経費支出       | 352,835   | 324,618   | 308,017   | 292,229   | 223,552   |
|                              |               | 教育活動資金支出計    | 4,141,709 | 4,339,253 | 4,368,747 | 4,069,681 | 3,794,536 |
|                              |               | 差引           | 647,436   | 735,769   | 546,245   | 584,127   | 450,751   |
|                              |               | 調整勘定等        | △ 5,367   | △ 67,537  | 26,980    | △ 68,141  | △ 13,266  |
| 教育活動資金収支差額                   |               | 642,069      | 668,232   | 573,224   | 515,986   | 437,485   |           |
| 施設整備等活動による資金収支               | 収入            | 施設設備寄付金収入    | 15,191    | 6,939     | 3,748     | 992       | 5,948     |
|                              |               | 施設設備補助金収入    | 0         | 27,614    | 94,041    | 0         | 0         |
|                              |               | 施設設備売却収入     | 0         | 0         | 0         | 0         | 30        |
|                              |               | 引当特定資産取崩収入   | 0         | 0         | 0         | 0         | 200,000   |
|                              |               | 施設整備等活動資金収入計 | 15,191    | 34,553    | 97,789    | 992       | 205,978   |
|                              | 支出            | 施設関係支出       | 295,910   | 212,958   | 247,319   | 269,483   | 165,966   |
|                              |               | 設備関係支出       | 138,852   | 59,808    | 75,447    | 40,695    | 34,287    |
|                              |               | 引当特定資産繰入支出   | 69,278    | 74,983    | 79,028    | 72,319    | 279,835   |
|                              |               | 施設整備等活動資金支出計 | 504,040   | 347,749   | 401,794   | 382,496   | 480,088   |
|                              |               | 差引           | △ 488,849 | △ 313,196 | △ 304,005 | △ 381,505 | △ 274,109 |
|                              | 調整勘定等         | 7,860        | △ 27,614  | △ 66,427  | 94,041    | 44        |           |
|                              | 施設整備等活動資金収支差額 |              | △ 480,989 | △ 340,810 | △ 370,432 | △ 287,464 | △ 274,065 |
| 小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額） |               | 161,080      | 327,422   | 202,792   | 228,523   | 163,419   |           |
| その他の活動による資金収支                | 収入            | 借入金等収入       | 0         | 0         | 5,771     | 0         | 0         |
|                              |               | 有価証券売却収入     | 184,708   | 8,203     | 215,676   | 9,762     | 309,762   |
|                              |               | 引当特定資産取崩収入   | 70,309    | 84,040    | 103,555   | 66,126    | 66,489    |
|                              |               | 貸付金回収収入　その他  | 12,421    | 47,010    | 14,239    | 594       | 0         |
|                              |               | 小計           | 267,438   | 139,253   | 339,241   | 76,482    | 376,250   |
|                              |               | 受取利息・配当金収入   | 34,573    | 24,415    | 34,490    | 51,246    | 58,189    |
|                              |               | その他の活動資金収入計  | 302,011   | 163,668   | 373,731   | 127,728   | 434,440   |
|                              | 支出            | 借入金等返済支出     | 211,110   | 211,110   | 216,881   | 211,110   | 211,110   |
|                              |               | 有価証券購入支出     | 0         | 0         | 200,000   | 200,000   | 300,000   |
|                              |               | 引当特定資産繰入支出   | 65,070    | 91,047    | 51,838    | 52,150    | 48,066    |
|                              |               | 貸付金支払支出　その他  | 3,992     | 0         | 38,507    | 30,065    | 16,139    |
|                              |               | 小計           | 280,172   | 302,157   | 507,225   | 493,325   | 575,315   |
|                              |               | 借入金等利息支出     | 16,111    | 15,055    | 14,003    | 12,944    | 11,889    |
|                              |               | 過年度修正支出      | 0         | 20,858    | 0         | 0         | 0         |
|                              |               | その他の活動資金支出計  | 296,283   | 338,071   | 521,228   | 506,269   | 587,204   |
|                              |               | 差引           | 5,728     | △ 174,403 | △ 147,497 | △ 378,541 | △ 152,764 |
|                              |               | 調整勘定等        | 0         | 0         | 118       | △ 78      | △ 21      |
|                              | その他の活動資金収支差額  |              | 5,728     | △ 174,403 | △ 147,379 | △ 378,619 | △ 152,785 |
| 支払資金増減額（小計+その他の活動資金収支差額）     |               | 166,808      | 153,020   | 55,413    | △ 150,097 | 10,634    |           |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

## イ) 財務比率の経年比較

(単位 %)

| 比率名  |              | 算式                     | 2019           | 2020           | 2021           | 2022           | 2023 |
|------|--------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------|
| 経営判断 | 教育活動資金収支差額比率 | 教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計 | 13.4<br>(12.5) | 13.2<br>(12.8) | 11.7<br>(14.5) | 11.1<br>(11.9) | 10.3 |

( ) は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」による全国大学法人規模別 (3~5 千人) 比率

## ③事業活動収支計算書関係

## ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書(2023年4月1日から2024年3月31日)

(単位 千円)

| 科目            |           |              | 2023年度       |           | 増減        | 備考 |
|---------------|-----------|--------------|--------------|-----------|-----------|----|
|               |           |              | 予算額          | 決算額       |           |    |
| 教育活動収支        | 収入        | 学生生徒等納付金     | 3,205,764    | 3,192,035 | 13,729    |    |
|               |           | 手数料          | 24,341       | 24,875    | △ 534     |    |
|               |           | 寄付金          | 35,315       | 36,496    | △ 1,181   |    |
|               |           | 経常費等補助金      | 824,856      | 839,868   | △ 15,012  |    |
|               |           | 付随事業収入       | 25,364       | 23,768    | 1,596     |    |
|               |           | 雑収入          | 127,300      | 128,276   | △ 976     |    |
|               |           | 教育活動収入計      | 4,242,940    | 4,245,318 | △ 2,378   |    |
|               | 支出        | 人件費          | 2,404,728    | 2,389,310 | 15,418    |    |
|               |           | 教育研究経費       | 1,960,898    | 1,929,998 | 30,900    |    |
|               |           | 管理経費         | 302,726      | 284,576   | 18,149    |    |
|               |           | 徴収不能額等       | 6,631        | 6,631     | 0         |    |
|               |           | 教育活動支出計      | 4,674,983    | 4,610,515 | 64,467    |    |
| 教育活動収支差額      |           | △ 432,043    | △ 365,197    | △ 66,845  |           |    |
| 教育活動外収支       | 収入        | 受取利息・配当金     | 58,190       | 58,189    | 1         |    |
|               |           | 教育活動外収入計     | 58,190       | 58,189    | 1         |    |
|               | 支出        | 借入金等利息       | 11,889       | 11,889    | 0         |    |
|               |           | 教育活動外支出計     | 11,889       | 11,889    | 0         |    |
|               | 教育活動外収支差額 |              | 46,301       | 46,300    | 1         |    |
| 経常収支差額        |           | △ 385,742    | △ 318,897    | △ 66,845  |           |    |
| 特別収支          | 収入        | 資産売却差額       | 0            | 30        | △ 30      |    |
|               |           | その他の特別収入     | 6,981        | 7,121     | △ 140     |    |
|               |           | 特別収入計        | 6,981        | 7,151     | △ 170     |    |
|               | 支出        | 資産処分差額       | 240,663      | 132,144   | 108,519   |    |
|               |           | その他の特別支出     | 0            | 0         | 0         |    |
|               |           | 特別支出計        | 240,663      | 132,144   | 108,519   |    |
|               | 特別収支差額    |              | △ 233,682    | △ 124,993 | △ 108,689 |    |
| 〔予備費〕         |           | ( 12,100)    |              | 67,900    |           |    |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | △ 687,324    | △ 443,890    | △ 243,434 |           |    |
| 基本金組入額合計      |           | △ 75,722     | △ 182,808    | 107,086   |           |    |
| 当年度収支差額       |           | △ 763,046    | △ 626,698    | △ 136,348 |           |    |
| 前年度繰越収支差額     |           | △ 15,889,607 | △ 15,889,607 | 0         |           |    |
| 基本金取崩額        |           | 3,300        | 0            | 3,300     |           |    |
| 翌年度繰越収支差額     |           | △ 16,649,353 | △ 16,516,304 | △ 133,048 |           |    |
| (参考)          |           |              |              |           |           |    |
| 事業活動収入計       |           | 4,308,111    | 4,310,658    | △ 2,547   |           |    |
| 事業活動支出計       |           | 4,995,435    | 4,754,548    | 240,887   |           |    |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

事業活動収支計算書(予算との対比)の主な内容は、次の通りです。

## 【経常収支】

教育活動収入は、主に、寄付金、経常費等補助金等において見込みより増額となり、全体で 2,378 千円増額となりました。  
教育活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費において見込みより減額となり、全体で 64,467 千円減額となりました。  
教育活動外収入及び教育活動外支出は、ほぼ計画通りとなりました。  
結果、経常収支差額において見込みより 66,845 千円改善し △318,897 千円となりました。

## 【特別収支】

特別収入は、資産売却差額、その他の特別収入において見込みより増額となり、全体で 170 千円増額となりました。  
特別支出は、資産処分差額において見込みより減額となり、全体で 108,519 千円減額となりました。

## 【基本金組入前当年度収支差額】

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は、予算対比 243,434 千円改善し △443,890 千円となりました。

## 事業活動収支内訳表（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日）

（単位 千円）

| 科目            |           |          | 学校法人      | 大阪樟蔭<br>女子大学 | 樟 蔭<br>高等学校 | 樟 蔭<br>中学校 | 大阪樟蔭<br>女子大学<br>附属幼稚園 | 総計        |
|---------------|-----------|----------|-----------|--------------|-------------|------------|-----------------------|-----------|
| 教育活動収支        | 収入        | 学生生徒等納付金 | 0         | 2,701,933    | 283,975     | 159,824    | 46,303                | 3,192,035 |
|               |           | 手数料      | 0         | 17,485       | 5,174       | 1,961      | 255                   | 24,875    |
|               |           | 寄付金      | 0         | 25,761       | 6,471       | 3,582      | 682                   | 36,496    |
|               |           | 經常費等補助金  | 0         | 456,085      | 278,113     | 72,938     | 32,732                | 839,868   |
|               |           | 付随事業収入   | 1,980     | 14,620       | 0           | 0          | 7,168                 | 23,768    |
|               |           | 雑収入      | 24,829    | 72,815       | 3,286       | 26,533     | 813                   | 128,276   |
|               |           | 教育活動収入計  | 26,809    | 3,288,700    | 577,019     | 264,838    | 87,952                | 4,245,318 |
|               | 支出        | 人件費      | 75,243    | 1,649,226    | 432,382     | 173,008    | 59,451                | 2,389,310 |
|               |           | 教育研究経費   | 348       | 1,546,627    | 239,873     | 108,770    | 34,381                | 1,929,998 |
|               |           | 管理経費     | 4,947     | 222,655      | 33,913      | 14,229     | 8,832                 | 284,576   |
|               |           | 徴収不能額等   | 0         | 6,575        | 0           | 55         | 0                     | 6,631     |
| 教育活動支出計       |           | 80,539   | 3,425,083 | 706,168      | 296,062     | 102,664    | 4,610,515             |           |
| 教育活動収支差額      |           |          | △ 53,730  | △ 136,383    | △ 129,149   | △ 31,224   | △ 14,712              | △ 365,197 |
| 教育活動外収支       | 収入        | 受取利息・配当金 | 14,801    | 31,496       | 7,186       | 3,078      | 1,627                 | 58,189    |
|               |           | 教育活動外収入計 | 14,801    | 31,496       | 7,186       | 3,078      | 1,627                 | 58,189    |
|               | 支出        | 借入金等利息   | 0         | 11,889       | 0           | 0          | 0                     | 11,889    |
|               |           | 教育活動外支出計 | 0         | 11,889       | 0           | 0          | 0                     | 11,889    |
|               | 教育活動外収支差額 |          |           | 14,801       | 19,607      | 7,186      | 3,078                 | 1,627     |
| 經常収支差額        |           |          | △ 38,928  | △ 116,776    | △ 121,963   | △ 28,146   | △ 13,085              | △ 318,897 |
| 特別収支          | 収入        | 資産売却差額   | 0         | 22           | 5           | 2          | 1                     | 30        |
|               |           | その他の特別収入 | 0         | 7,110        | 8           | 3          | 0                     | 7,121     |
|               |           | 特別収入計    | 0         | 7,132        | 13          | 6          | 1                     | 7,151     |
|               | 支出        | 資産処分差額   | 0         | 132,096      | 34          | 14         | 0                     | 132,144   |
|               |           | その他の特別支出 | 0         | 0            | 0           | 0          | 0                     | 0         |
|               |           | 特別支出計    | 0         | 132,096      | 34          | 14         | 0                     | 132,144   |
|               | 特別収支差額    |          |           | 0            | △ 124,965   | -21        | △ 9                   | 1         |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           |          | △ 38,928  | △ 241,740    | △ 121,983   | △ 28,154   | △ 13,084              | △ 443,890 |
| 基本金組入額合計      |           |          | △ 120     | △ 137,101    | △ 2,265     | △ 758      | △ 42,564              | △ 182,808 |
| 当年度収支差額       |           |          | △ 39,048  | △ 378,841    | △ 124,248   | △ 28,913   | △ 55,648              | △ 626,698 |
| (参考)          |           |          |           |              |             |            |                       |           |
| 事業活動収入計       |           |          | 41,610    | 3,327,328    | 584,218     | 267,922    | 89,580                | 4,310,658 |
| 事業活動支出計       |           |          | 80,539    | 3,569,068    | 706,201     | 296,076    | 102,664               | 4,754,548 |

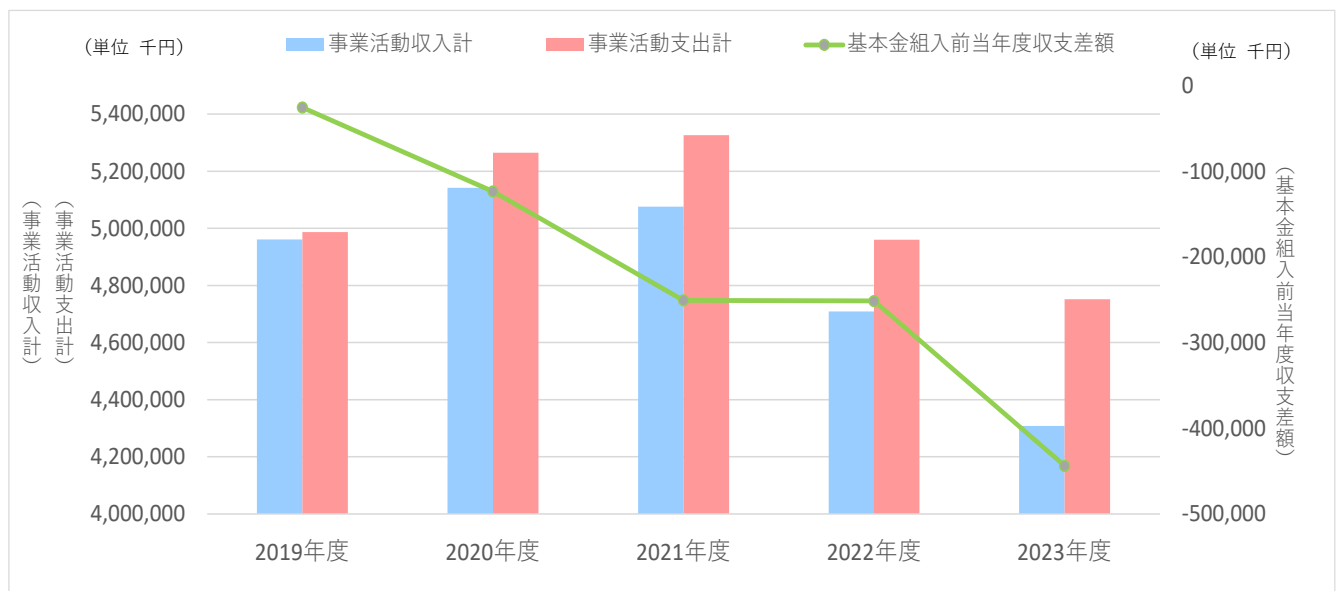
注）千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。

## 事業活動収支計算書の経年比較

(単位 千円)

| 科目            |           |           | 2019年度    | 2020年度    | 2021年度    | 2022年度    | 2023年度    |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育活動収支        | 収入        | 学生生徒等納付金  | 3,756,874 | 3,868,860 | 3,697,474 | 3,488,474 | 3,192,035 |
|               |           | 手数料       | 52,454    | 34,320    | 33,624    | 30,335    | 24,875    |
|               |           | 寄付金       | 53,286    | 42,096    | 37,463    | 54,568    | 36,496    |
|               |           | 経常費等補助金   | 791,944   | 980,105   | 930,724   | 899,771   | 839,868   |
|               |           | 付随事業収入    | 26,765    | 19,358    | 21,586    | 21,192    | 23,768    |
|               |           | 雑収入       | 108,166   | 131,544   | 194,167   | 159,654   | 128,276   |
|               |           | 教育活動収入計   | 4,789,489 | 5,076,284 | 4,915,038 | 4,653,994 | 4,245,318 |
|               | 支出        | 人件費       | 2,848,710 | 2,749,062 | 2,850,512 | 2,514,755 | 2,389,310 |
|               |           | 教育研究経費    | 1,710,223 | 1,958,685 | 1,955,201 | 2,010,637 | 1,929,998 |
|               |           | 管理経費      | 409,210   | 384,889   | 371,656   | 355,706   | 284,576   |
|               |           | 徴収不能額等    | 1,636     | 0         | 1,707     | 2,961     | 6,631     |
|               |           | 教育活動支出計   | 4,969,779 | 5,092,637 | 5,179,075 | 4,884,059 | 4,610,515 |
| 教育活動収支差額      |           | △ 180,290 | △ 16,353  | △ 264,037 | △ 230,065 | △ 365,197 |           |
| 教育活動外収支       | 収入        | 受取利息・配当金  | 34,573    | 24,415    | 34,490    | 51,246    | 58,189    |
|               |           | 教育活動外収入計  | 34,573    | 24,415    | 34,490    | 51,246    | 58,189    |
|               | 支出        | 借入金等利息    | 16,111    | 15,055    | 14,003    | 12,944    | 11,889    |
|               |           | 教育活動外支出計  | 16,111    | 15,055    | 14,003    | 12,944    | 11,889    |
|               | 教育活動外収支差額 |           | 18,462    | 9,359     | 20,488    | 38,302    | 46,300    |
| 経常収支差額        |           | △ 161,828 | △ 6,994   | △ 243,549 | △ 191,763 | △ 318,897 |           |
| 特別収支          | 収入        | 資産売却差額    | 115,225   | 0         | 24,981    | 0         | 30        |
|               |           | その他の特別収入  | 21,974    | 40,851    | 101,187   | 4,125     | 7,121     |
|               |           | 特別収入計     | 137,199   | 40,851    | 126,168   | 4,125     | 7,151     |
|               | 支出        | 資産処分差額    | 1,024     | 136,532   | 109,239   | 63,496    | 132,144   |
|               |           | その他の特別支出  | 0         | 20,858    | 24,143    | 0         | 0         |
|               |           | 特別支出計     | 1,024     | 157,390   | 133,381   | 63,496    | 132,144   |
|               | 特別収支差額    |           | 136,175   | △ 116,539 | △ 7,213   | △ 59,371  | △ 124,993 |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | △ 25,653  | △ 123,533 | △ 250,763 | △ 251,134 | △ 443,890 |           |
| 基本金組入額合計      |           | △ 559,849 | △ 314,929 | △ 318,651 | △ 390,702 | △ 182,808 |           |
| 当年度収支差額       |           | △ 585,502 | △ 438,462 | △ 569,414 | △ 641,836 | △ 626,698 |           |
| (参考)          |           |           |           |           |           |           |           |
| 事業活動収入計       |           | 4,961,261 | 5,141,550 | 5,075,697 | 4,709,365 | 4,310,658 |           |
| 事業活動支出計       |           | 4,986,914 | 5,265,082 | 5,326,459 | 4,960,499 | 4,754,548 |           |
|               |           |           |           |           |           |           |           |
| 経常収入          |           | 4,824,062 | 5,100,699 | 4,949,529 | 4,705,240 | 4,303,507 |           |
| 経常支出          |           | 4,985,890 | 5,107,693 | 5,193,078 | 4,897,003 | 4,622,404 |           |

注) 千円単位で表示するにあたり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合があります。



## イ) 財務比率の経年比較

(単位 ٪)

| 比率名        |            | 算式                         | 2019    | 2020    | 2021    | 2022    | 2023  |
|------------|------------|----------------------------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 経営状況       | 事業活動収支差額比率 | 基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入     | -0.5    | -2.4    | -4.9    | -5.3    | -10.3 |
|            |            |                            | (4.9)   | (5.5)   | (5.8)   | (4.4)   |       |
| 収入構成       | 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金 / 経常収入            | 77.9    | 75.8    | 74.7    | 74.1    | 74.2  |
|            |            |                            | (54.5)  | (53.5)  | (51.5)  | (50.1)  |       |
|            | 寄付金比率      | 寄付金 / 事業活動収入               | 1.5     | 1.1     | 0.9     | 1.2     | 1.0   |
|            |            |                            | (2.2)   | (2.1)   | (1.5)   | (1.2)   |       |
|            | 経常寄付金比率    | 教育活動収支の寄付金 / 経常収入          | 1.1     | 0.8     | 0.8     | 1.2     | 0.8   |
|            |            |                            | (1.1)   | (1.2)   | (1.1)   | (0.9)   |       |
|            | 補助金比率      | 補助金 / 事業活動収入               | 16.0    | 19.6    | 20.2    | 19.1    | 19.5  |
|            |            |                            | (11.8)  | (14.9)  | (14.3)  | (14.5)  |       |
|            | 経常補助金比率    | 教育活動収支の補助金 / 経常収入          | 16.4    | 19.2    | 18.8    | 19.1    | 19.5  |
|            |            |                            | (11.5)  | (14.6)  | (13.9)  | (14.1)  |       |
| 支出構成       | 人件費比率      | 人件費 / 経常収入                 | 59.1    | 53.9    | 57.6    | 53.4    | 55.6  |
|            |            |                            | (51.9)  | (49.9)  | (49.0)  | (48.7)  |       |
|            | 教育研究経費比率   | 教育研究経費 / 経常収入              | 35.5    | 38.4    | 39.5    | 42.7    | 44.8  |
|            |            |                            | (36.7)  | (37.9)  | (37.5)  | (39.4)  |       |
|            | 管理経費比率     | 管理経費 / 経常収入                | 8.5     | 7.5     | 7.5     | 7.6     | 6.6   |
|            |            |                            | (8.1)   | (7.3)   | (7.2)   | (8.0)   |       |
|            | 借入金等利息比率   | 借入金等利息 / 経常収入              | 0.3     | 0.3     | 0.3     | 0.3     | 0.3   |
|            |            |                            | (0.1)   | (0.1)   | (0.1)   | (0.1)   |       |
|            | 基本金組入率     | 基本金組入額 / 事業活動収入            | 11.3    | 6.1     | 6.3     | 8.3     | 4.2   |
|            |            |                            | (10.4)  | (9.7)   | (9.2)   | (7.2)   |       |
| 収支<br>バランス | 人件費依存率     | 人件費 / 学生生徒等納付金             | 75.8    | 71.1    | 77.1    | 72.1    | 74.9  |
|            |            |                            | (95.3)  | (93.3)  | (95.1)  | (97.2)  |       |
|            | 基本金組入後収支比率 | 事業活動支出 / (事業活動収入 - 基本金組入額) | 113.3   | 109.1   | 112.0   | 114.9   | 115.2 |
|            |            |                            | (106.2) | (104.6) | (103.7) | (103.0) |       |
|            | 経常収支差額比率   | 経常収支差額 / 経常収入              | -3.4    | -0.1    | -4.9    | -4.1    | -7.4  |
|            |            |                            | (3.1)   | (4.7)   | (6.1)   | (3.7)   |       |
|            | 教育活動収支差額比率 | 教育活動収支差額 / 教育活動収入計         | -3.8    | -0.3    | -5.4    | -4.9    | -8.6  |
|            |            |                            | (1.8)   | (3.5)   | (4.7)   | (2.1)   |       |

( ) は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」による全国大学法人規模別 (3~5 千人) 比率

## (2) その他の状況

## 1. 有価証券の状況

(単位: 円)

| 種類        | 貸借対照表計上額      | 時価            | 差額            |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 債券        | 1,450,000,000 | 1,378,420,000 | △ 71,580,000  |
| 社債        | 306,512,000   | 292,120,000   | △ 14,392,000  |
| 投資信託      | 571,332,024   | 549,017,303   | △ 22,314,721  |
| 合計        | 2,327,844,024 | 2,219,557,303 | △ 108,286,721 |
| 時価のない有価証券 | 9,614,900     |               |               |
| 有価証券合計    | 2,337,458,924 |               |               |

## 2. 借入金の状況

(単位: 円)

| 借入先            | 期末残高          | 利率   | 返済期限       |
|----------------|---------------|------|------------|
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 500,000,000   | 0.5% | 2033年9月15日 |
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 1,772,210,000 | 0.5% | 2034年9月15日 |
| 合計             | 2,272,210,000 |      |            |

## 3. 学校債の状況

学校債の発行はありません。

## 4. 寄付金の状況

(単位: 円)

| 特別寄付金      | 一般寄付金     | 現物寄付金     | 合計         |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 34,611,979 | 7,832,714 | 1,127,745 | 43,572,438 |

## 5. 補助金の状況

(単位: 円)

|     | 経常費補助金      | 授業料等減免費交付金  | 授業料支援補助金   |
|-----|-------------|-------------|------------|
| 大学  | 245,690,000 | 209,827,700 |            |
| 高校  | 195,369,000 |             | 80,717,035 |
| 中学校 | 72,372,000  |             |            |
| 幼稚園 | 29,622,000  |             |            |

※大学の経常費補助金には、特別補助を含む

## 6. 収益事業の状況

収益事業はありません。

## 7. 関連当事者等との取引の状況

## (1) 関連当事者

(単位: 円)

| 役員等の名称    | 関係内容  | 取引内容                          | 取引金額(期末残高)      |
|-----------|-------|-------------------------------|-----------------|
| 理事長 森 真太郎 | 設備の賃借 | 無償の土地借用 ※1                    | 0               |
| 理事長 森 真太郎 | 設備の賃貸 | 理事長公舎の賃貸料 ※1                  | 1,320,000       |
| 理事長 森 真太郎 |       | 日本私立学校振興・共済事業団からの借入に対する被保証 ※2 | (2,272,210,000) |

※1 設備の賃貸借は、学園の円滑な運営・社会情勢等を勘案した上で協議し、決定しています。

※2 校舎建設に係る日本私立学校振興・共済事業団と当法人との金銭消費貸借及び抵当権設定契約証書において、当法人と連帯して債務を負っています。

## (2) 出資会社

(単位: 円)

|      |                            |           |            |
|------|----------------------------|-----------|------------|
| 出資会社 | 樟蔭エンタープライズ 株式会社            |           |            |
| 事業内容 | 施設保守管理、清涼飲料水・事務用品等販売 他     |           |            |
| 資本金  | 9,500,000                  |           |            |
| 出資割合 | 100%                       |           |            |
| 取引内容 | 当該会社からの受入額                 | 寄付金       | 13,500,000 |
|      |                            | 施設設備利用料   | 842,653    |
|      | 当該会社への支払額                  | 施設保守管理料 他 | 12,541,929 |
| 保証債務 | 学校法人は当該会社について債務保証を行っていません。 |           |            |

## 8. 学校法人間財務取引

学校法人間財務取引はありません。

### (3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

#### 経営状況の分析、経営上の成果

2023年度業活動収支計算書において、企業会計でいう当期純損益に相当する基本金組入前当年度収支差額は、マイナス(△)443,890千円となり、当該年度の臨時的な収支バランスの要素を除いた経常収支差額は、マイナス(△)318,897千円となりました。学校法人会計において、事業活動収支の経常収支差額がプラスであることが財務面での健全性を計る指標とされますが、2023年度決算における経常収支差額は、各部門が予算の重要性を認識し、予算執行の適正化を進めたこと等もあり、当初予算からは60,000千円程改善し、全体としては見込み通りの予算執行ができました。学生・生徒・園児からの学費は、可能な限り教育、研究を中心としたソフト面での支出に充当させ、また、学園に学ぶ学生・生徒・園児の安全をより意識して、施設、設備の更新といったハード面での支出にも意識してまいりました。

しかし、経常収支差額は、前年度から66%を上回るマイナスとなり、学生生徒数減による学生生徒等納付金収入の減少、光熱水費の値上がり等も大きく影響したこと等を以て、厳しい結果となりました。

一方、近年、文部科学省が重要視している運用資産(現金預金、特定資産、有価証券の計)と外部負債(借入金、未払金の計)の関係については、その差額(運用資産-外部負債)は5ヶ年度連続でプラスとなり、運用資産が外部負債を上回る状態が恒常化しています。しかし、積立率(運用資産÷要積立額)22.0%や特定資産構成比率(特定資産÷総資産)11.1%は、全国平均(2022年度の同規模大学法人比率)に比べて大きく下回っており、運用資産の絶対額の増加が必要となっています。

その他、長期的な財務の健全性をみる純資産構成比率(純資産÷(総負債+純資産))は77.2%で、全国平均と比べると若干低くなっていますが、他人資金とのボーダーである50%を基準に見て十分上回っています。また、短期的な財務の健全性をみる流動比率(流動資産÷流動負債)は247.5%で前年度と同様に、流動資産が流動負債を十分に上回っており、資金流動性に不安は生じていない状況です。

その他、財務比率の経年変化や決算内容の詳細については、本報告書「Ⅲ財務の概要」をご確認ください。

#### 経営上の課題・今後の方針・対応方策

学校法人として最大の責務は、永続的に教育研究活動を展開することであり、そのためには、財務面での安定が必要となります。重要指標の一つである「経常収支差額」について、前年度より更にマイナス幅が大きくなっており、プラス転換、少なくとも限りなくプラスに近づけることが最大且つ喫緊の課題です。

そのためには、教職協働のもと学生生徒募集活動には最大限に尽力し、学園各校の矜持のもと、時代のニーズや環境変化をよく研究、把握し、学生生徒ニーズに合った学びの魅力を一層高めて、学生生徒数を安定的に確保していくことが必要です。アンシャンレージュム、バイアスを打破し、大きな視点(広い志向)と小さなディテール(細部の突き詰め)を行き来することで、より新しい、理想形に近づき、現代にマッチした学びや体制を整えていきます。大学では改組転換し、中高ではコース制の改編を行うなどし、『選ばれる学校』になるべく更に改革が必要だと感じています。

また、今後更なる寄付金収入の増加や競争的資金獲得に向けた取り組みの強化、資産運用方針の再検討等によって収入の多様化を図り、一方で、人件費について、前年度比:マイナス(△)4.8%(マイナス(△)125,238千円)、2021年度比:マイナス(△)15.6%(マイナス(△)453,884千円)と毎年削減をしていますが、単に支出抑制するだけでなく、経営の戦略に従い変化に対応できる人材の育成や学習する組織体制にすることが必要で、加えて、様々な働き方等を取入れることで、より組織力を強化していかなければなりません。また、施設設備計画についても多角的検証のもと見直して、支出を抑制しつつも教育の質を向上させるメリハリのある財政計画を実行していかなければなりません。

現在履行中の第Ⅲ期中長期計画は、次年度より第Ⅳ期中長期計画として、発展的に継続していきますが、より現状(As is)と未来(To be)を踏まえて、適切な財務計画と一体化した計画をデザインし、安定した財務基盤の確立に向けて努力します。



**学校法人 樟蔭学園**

〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4丁目2番26号  
TEL.06-6723-8183 FAX.06-6723-8263